

**（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本計画（案）に対する
パブリック・コメントの結果**

【案件名】

（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本計画（案）

【実施期間】

令和８年５月２０日（水）～令和８年６月１９日（金）

【意見の提出件数】

82件（60人）

【意見の提出方法の内訳】

方法	件数	人数
窓口	16	16
郵送	3	3
FAX	8	8
電子メール	10	10
電子申請	45	23
（計）	82	60

【計画への意見反映件数】

9 項目

内容	意見概要	延べ件数
予算・お金	予算を違うものに使ってほしい	20
予算・お金	予算を投じて新たに博物館を建設することに反対	13
予算・お金	ランニングコストが負担になる	9
予算・お金	収入確保の取り組み	4
予算・お金	ランニングコストを示してほしい	3
予算・お金	概算費用がいつ時点の情報か記載してほしい	
予算・お金	財源内訳を明示すべき	
予算・お金	採算が取れない施設に反対	
予算・お金	税金が上がらないか不安	
予算・お金	博物館整備に係る補助金について	
予算・お金	広告料収入の取り組み提案	
予算・お金	博物館予算が市民サービスに与える影響は	
既存施設活用	既存施設を活用してほしい	13
既存施設活用	既存施設の活用では不十分であることを説明すべき	
既存施設活用	新築以外の代替案の提示	
時期	建設は今のタイミングでない。	8
市民意見	市民の意見を聞いてほしい（アンケートなど）	9
市民意見	市民生活へのメリットは	
市民意見	市民等が求める施設や体験についてニーズを調査すべき	
不要	博物館は不要	6
不要	ハコモノに反対	2
保存管理	郷土資料の保存管理は重要。	9
保存管理	デジタルアーカイブ化の推進	7
保存管理	データベースについて	4
保存管理	建設に反対ではない。	2
保存管理	収蔵庫のみ整備しては	2
保存管理	図書館システムとの連携	
場所	駅前交流センター駐車場に建設することに反対。	5
場所	駐車場台数の確保	4
場所	大宮城を復元し、歴史公園をつくっては	
場所	場所は適切か	
場所	広い場所に整備してほしい。	
場所	宮バスでの送迎	
場所	用地の購入を検討できないか	

場所	立体駐車場で雨や日差しを防げるようにしたい	
場所	立地の検討方法について	
場所	立地のメリットの記載について	
計画	基本計画の上位計画について	
計画	基本理念があいまい	
計画	計画書の要約をつけてほしい	
計画	計画内容が魅力的でない	
計画	建設ありき	
計画	策定委員会委員について	
計画	施設の計画が不十分ではないか	
計画	市の案と代替案の比較を提示すべき	
計画	集客性に疑問	
計画	資料収集方針を明記すべき	
計画	都市計画マスタープランに整合しているか	
計画	ニーズ調査の結果を踏まえ、内容を検証し、公表すべき	
計画	文化資源を大切にしてほしい	
計画	来館者数の想定を記載すべき	
事業	博物館の登録について	4
事業	学芸員の活用について	
事業	構想時の課題への対応検討について	
事業	市民コレクター・民間団体との協働によるデジタルアーカイブ化の推進	
事業	浅間大社と駅前間に、案内所など見どころを作る	
事業	ソフト面の充実が必要	
交通	博物館への交通手段	2
交通	駐車場料金	
交通	駐車場利用方法	
施設	親子や家族、年寄が楽しめたり、食事ができる場所があるとよい	
施設	学習スペースの整備	
施設	カフェ、コンビニの併設	
施設	事業内容に対して面積が狭い	
施設	写真スポットの設置提案	
施設	収蔵が不足しないか	
施設	資料の受け皿として博物館整備に期待	
施設	多目的スペース、交流スペースは不要	
施設	展示スペースが不十分	
施設	登録博物館について	
施設	博物館は必要	

施設	博物館を整備し、歴史文化を伝えるべき	
施設	反対意見しかないのに建設するのか	
施設	複合施設にして、賑わいを創出したい	
施設	防災機能の整備	
施設	防災拠点としての活用により市民の納得感を得る	
施設	防災対策を詳細に記載したほうが良い	
施設	用地とメイン施設を決めておき、他の施設は時間をかけてつくる	
施設	市民研究室や交流スペースの利用方法	
施設	博物館外装デザインと内装	
手続き	博物館の登録	6
展示	テーマ展示の展示方法	3
展示	多言語対応について	2
展示	展示内容	2
展示	朝霧高原の開拓を常設展示に	
展示	テーマ展示について検討してほしい	
展示	テーマやストーリーをもった展示の実施	
展示	展示内容をもっと議論したほうが良い	
展示	展示アンケート	
展示	今の生活の記録	
展示	芸術文化作品の展示	
展示	市外からの観光者について	
展示	市立の博物館だからこそできる内容の表現	
展示	展示と人員	
展示	展示内容の活用	
展示	展示内容のレベル	
展示	展示方法	
展示	伝統文化の披露	
展示	博物館見学後の市内周遊	
展示	民俗芸能の実演	
展示	体験ブースの設置提案	
展示	図書館のDX化	
教育	体験の提案	
教育	ワークシートの内容について	
教育	ワークショップなど体験講座	
ネットワーク	芸術文化との連携	
ネットワーク	産業との連携	
ネットワーク	ネットワークの調整役	
ネットワーク	ボランティアやガイドなど、地域の担い手を育てる取り組みが必要	

ネットワーク	歴史文化以外の分野にも博物館が有効であることを記載したほうが良い	
情報発信	HP掲載内容について	
情報発信	情報提供が不十分	
情報発信	情報発信について	
本文表記	本文の言い回しについて	5
本文表記	資料編への意見	2
本文表記	本文表記	2
本文表記	「活用」の表現について	
本文表記	古文書の説明を丁寧に	
本文表記	表現確認	
本文表記	本文の補足説明を加えたほうが良い	
その他	基本計画と関係のない意見（太陽光パネル）	

(仮称) 富士宮市立郷土史博物館基本計画(案) に対する意見と意見に対する市の考え方

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
1	2	最初の「本市には～存在します」の一文目が長く、ゆっくり読めば文意は理解できるが、スムーズに入ってこない。以下のような修正を提案する。 A.『本市には、本市特有の「たから」と呼ぶべき歴史文化資源が数多く豊かに存在します。これには、富士山はもちろん、白糸ノ滝、大鹿窪遺跡などの史跡や文化財としての指定や登録を受けたものや、それだけでなく、美術品、古文書などの有形文化財、伝統行事、祭りなどの無形文化財のほか、地域の人々の暮らしの中で形成された民話、伝承なども広く含みます。しかしながら、現状では、これらを後世に継承するためには、幾つかの課題があります。』 B.『本市には、富士山はもちろん、白糸ノ滝、大鹿窪遺跡などの史跡や文化財としての指定や登録を受けたものや、それだけでなく、幅広い歴史文化資源が数多く存在します。これは、美術品、古文書などの有形文化財、伝統行事、祭りなどの無形文化財のほか、地域の人々の暮らしの中で形成された民話、伝承なども広く含むものです。これらは、本市特有の「たから」と呼ぶべき歴史文化資源です。しかしながら、現状では、これらを後世に継承するためには、幾つかの課題があります。』	A.『本市には、本市特有の「たから」と呼ぶべき歴史文化資源が数多く豊かに存在します。これには、富士山はもちろん、白糸ノ滝、大鹿窪遺跡などの史跡や文化財として国・県・市の指定や国の登録を受けたもの、それだけでなく、美術品、古文書などの有形文化財、伝統行事、祭りなどの民俗文化財のほか、地域の人々の暮らしの中で形成された民話、伝承なども広く含みます。しかしながら、現状では、これらを後世に継承するためには、幾つかの課題があります。』に修正します。	有

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
2	2	『(1) ②活用(展示・教育)について』 「分かりやすい展示と解説、楽しみながら学べる講座や活動」とあるが、「楽しみながら学べる」こと、あるいは『楽しめる』ことは、「展示と解説」にも係る内容なので、『学びも遊びもOKな敷居の低さ、ライトにもディープにも楽しめる空気感』を伝えていくために、たとえば、『楽しく分かりやすい展示と解説、講座や活動』とするなど、“展示も楽しくしたい意向”が表現されると、より多くの人々が、行ってみようかな、と思いきやすいかもしれない。	『楽しく分かりやすい展示・解説や講座・活動』とします。楽しめることは展示や解説にもかかってきます。	有
3	3	『(2) ②歴史文化の掘り起こし』 「博物館において調査研究する」の「において」の箇所は、『博物館が職員や利用者の研究の拠点として機能すること』と、『調査研究の広い主体として活動する博物館』という二点とを表現したものと受け取ったが、“調査研究の直接的な場所を指す”という解釈も成立してしまうため語弊があり、フィールドワークを包括しない表現にも感じられた。『フィールドで得た資料も研究として博物館に持ち帰る意味や、拠点としての作用、そして研究の包括的主体として、「博物館において」となっていること』は理解できるが、表現から、館内から外に出る足取りの矢印を感じにくくもある。また、『かつての列強のミュージアムの過ちのように、「市内各地域で守られてきた歴史文化資源」を現地から拠点へと集めてしまうのではないか』、と警戒され得る表現であると同時に、現地から動かせないものについての適応力が弱い。 『博物館の成すこの効果が、館内だけでなくフィールド全体において発揮され、そしてそれは⑦にも繋がる』ということを経験なく表現する上では、「博物館において」の箇所を、たとえば『博物館を基地として』、『博物館を拠点として』、などとされてはいかがか。そうすると、『館内を調査研究の拠点、基地として活用しながら、フィールドでの調査研究活動も行なう』印象を、より明確に受け取りやすくなると思う。	『博物館を拠点として』に修正します。「～を拠点として」という表現は、活動や事業の土台となる中心地を表す言葉であり、私たちが目指す博物館により近い表現となるため、反映します。	有

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
4	14～15 20	「賑わいの拠点」としての集客根拠が示されていないことについて 本計画案は、郷土史博物館を「町の賑わいの拠点」として位置づけている。しかしながら、その最も根本的な問いに対する答えが計画案の中に見当たらない。その問いとは、「郷土史の展示を核とした博物館で、本当に人が集まるのか」ということであり、計画案には以下の情報がいずれも含まれていない。 ・ 想定年間来館者数とその算出根拠 ・ 全国の類似規模 ・ 類似テーマの郷土史博物館における実際の来館者数との比較 ・ 現在の富士宮市立郷土資料館、埋蔵文化財センターの年間来館者数の実績 ・ 市民、観光客を対象とした「求める施設・体験」についてのニーズ調査の結果 富士宮市には世界遺産や富士山、富士山本宮浅間大社、白糸ノ滝、富士宮やきそばなど、全国、世界に通用する観光資源がすでに存在している。こうした既存資源との相乗効果が期待できる施設の整備こそが、「賑わいの拠点」の実現への近道ではないかと考える。20億円を超える公費を投じる以上、「郷土史博物館が本当に賑わいを生む施設として最善の選択であるか」を、データと市民の声に基づいて検証することは最低限の責務である。現時点では、その検証が十分になされているとは思えない。 よって、以下を要望する。 ①全国類似施設の来館者実績を参照した、現実的な年間来館者数の試算と根拠を公開すること。 ②市民および富士宮を訪れる観光客を対象とした「求める施設・体験」についての中立的なニーズ調査を実施・公開すること。 ③ニーズ調査の結果を踏まえたうえで、郷土史博物館が「賑わいの拠点」として最善の選択肢であるかを改めて検証し、その結果を市民に示すこと。	博物館は「賑わいの拠点」ではなく、富士宮の歴史文化の拠点、そして、人づくりの拠点として計画しています。 まちなかに整備し、博物館が周辺の歴史文化資源を活用したり、商店街などと連携することで、博物館に訪れた人が、街へ回遊したり、賑わい創出につげたい考えます。 ①年間来館者数は、2～3万人程度と想定します。（隣の富士市立博物館は年間38,000人です。）全国の類似施設来館者実績は参照しておりません。来館者数については、基本計画に記載します。 ②博物館でのニーズ調査は行う予定はありませんが、p64のとおり、市民とともにつくる博物館のために、他館の見学や意見交換を行いたいと考えています。 ③上記の通り、博物館は賑わいを目的としたものでなく、歴史文化を学んでいただく場として整備しますが、それがまちなかにあることで、にぎわい創出につげたいと考えます。	有

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
5	28	『E-1③』 「施設周辺の歴史文化資源に関する情報」とある「施設周辺」とは、連携対象の「観光案内施設や公民館など」の周辺のことか、それとも、博物館施設の周辺か。前者で受け取り、『テーマ展示やSNSなどで連携対象の周辺について掘り下げ、紹介・発信するイメージ』を抱いたが、その受け取り方でよろしいか。 「施設」の語が『連携対象施設』の意である場合、より明確に、『それら施設周辺の歴史文化資源に関する情報』などとなると、確実性が増すと感じた。	『それら施設周辺の歴史文化資源に関する情報』と修正します。 施設周辺の歴史文化資源とは、観光案内施設や公民館などの連携施設の周辺にある歴史文化資源を意味します。展示やSNSのほか、HPや対象地域ごとの持ち歩けるパンフレットなどで、周辺の散策などにもつながれるとよいと考えています。	有
6	42 62	【基本構想検討委員会から挙げられた課題について】 基本構想報告書には、検討委員会委員より、①ミュージアムショップの充実 は展示の充実にもつながることから、博物館の魅力向上に重要な要素である。運営方法や販売物品などについて検討すること。②活用の視点から人の流れに基づく来館者の推計を行うこと。の2点について指摘されている。①について、指摘されている事項について記載がないため記載すべき。②について、説明会で富士市の事例（年間来館者38,000人/年・124人/日）から年間2～3万人を想定していると回答していたが、基本計画に明記すべき。併せて、開館時間、開館日数等の関連項目についても明記すべき。	①のミュージアムショップについては、利用者サービス・交流スペース全体の配置を計画する中で、一角に設置する計画としました。建築設計の段階で規模に合わせて検討する予定です。 ②来館者推計については、掲載いたします。開館時間や開館日数については、P62のとおり、今後検討していきます。	有
7	47～48	ダッシュ（プライム記号）の表記が3パターンあり（'、'、'）、同じランクでもダッシュ（プライム記号）の表記が異なる箇所がある。	「A'」と「A'」が混在しているため、「A'」に統一します。	有
8	66	ランニングコストに関する記載をして欲しい。 維持管理費、修繕費（大規模修繕等含む。）項目を列挙をして欲しい。 金額が不明でも、今後支出される項目は、知るべき情報と考える。	ランニングコストについて、現段階の概算費用を掲載します。 大きく分けて施設維持管理費、人件費、事業費になります。	有
		どの段階での情報（金額）なのか記載をして欲しい。 〇〇年〇〇月等 記載して欲しい。 中東情勢で、建設資材等も上昇し今後も同様と思われる。いつの時点での金額かは、重要な情報となる。	どの時期に算出した概算費用なのか時期を記載した方が、市民の皆様にも分かりやすいため、基本計画のP66に追加します。	有

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
9	102	『（３）②収蔵施設としての活用』： 太字の設定時に、「②収」の箇所のみ太字になっていない。	「収」を太字に修正します。	有
10	2	そもそも、市民という"たから"が、何らかの理由で減少しているのに、市民の声を無視して、何が何でも建ててやる！という感じがおかしい。住みにくいから富士宮市から出て行くのではないか。これだけの収入がありながら、市民が困っていることへは目を向けず、とんでもない予算をその"たから"とやらに使われるのは、疑問しかない。市民の皆さんが、汗水流して働いて、苦しい中でも払わなければならない税金で集まった大事な大事なお金。それを扱う方々は、麻痺されてるのではないか。住民投票はなぜやらないのか。そんなにお金をかけないとできないことなのか。市民という"たから"あつての富士宮市なのではないか。余裕があるなら少しでも減税してほしい。こちらのアンケートに意見を述べるということは大変怖いことだが、黙っているだけじゃ変わらないと、思い切って意見した。なぜ個人情報が必要なのか。		無
11	2	『（１）①保存管理について』 当計画において記される、博物館の早急な必要性の一因に、『古文書の保存環境の劣悪さ』があるが、そもそも、古文書というものがとてもたくさんあるものだということが、あまり広くは認知されていない可能性もあると感じる。その保存環境が劣悪であることの危機感を伝えていく上で、古文書というものは、市内に新旧数多あるのだという点を、啓蒙する必要もあるように感じる。市は、『個人宅にもまだ、古文書を含めて歴史文化資源が眠っている可能性があるため、それらが代替わりにより失われぬよう、早急に博物館を造りたい』と考えているので、個人宅に今もあるようなものが歴史文化資源である、という点がまず伝わるのが重要であると感じる。資料内容を市民に伝えていく上で、業務への従事者や研究者と、一般市民との間で、認識に多少のズレがある可能性も想定されるため、市の側のまなざしを丁寧に伝える必要があるように感じる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 市の古文書の保存状況等について、十分に理解をしていただきありがとうございます。 確かに古文書だけでなく、ほかの歴史文化資源における保存状況についても、市民の皆様には十分にお伝えできていないと感じることもありましたが、説明会を行う中で、市民の皆様から、埋蔵文化財センターの立地や文化財を大切に保存管理することの必要性を理解していただいている声をいただき、今後も伝えていければと考えています。基本計画は、市の方針や具体的な事業内容について記載するものなので、保存管理の現状については、P2やP14に記載されている内容とさせていただきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
12	2	『（１）②活用（展示・教育）について』 字数の都合なのだと感じますが、主語の省略により、文意のとれる範囲で、文意が入ってこない文章がある。全体を通して、主語は本市であると受け取ったが、二文目の主語が前半と後半とで異なると感じる。二文目の視点を、省略された主語として本市に揃えて調整するか、あるいは、主語を市民に揃え『市民が歴史文化資源の価値を知り、親しむことは、大切に後世へ引き継ぐことの必要性を感じることとなります。』などとするか、二文目前半から主語を省き一般化して、『歴史文化資源の価値を知り、親しむことは、大切に後世へ引き継ぐことの必要性を感じることとなります。そして、それが守り伝える人材を育成することにつながります。』としてはどうか。 併せて、一文目では「市民や多くの人々に対して」とあり、二文目では「市民が」とある点について、一文目と二文目とで言及の対象が異なるように感じた。もしも後者も「市民や多くの人々」を意図するのであれば、表記を揃えるか、「市民が」を省いて一般化するなども可能と感じる。二文目においては、より直接的に関与する対象として、「市民」と特記しているのか、それとも、関係人口を増やす意図で、守り伝える人材の裾野として、「市民や多くの人々」を意図するのかで表記の変わる箇所と感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 二文目については、現状で文意が伝わると判断し、そのままとします。 一文目と二文目の言及の対象について、博物館では、多くの方に利用していただきたいと考えていますが、特に市民に郷土の歴史を知っていただき郷土愛を育む機会を提供し、大切な歴史文化財を後世へ継承したいという思いがあるため、二文目は、「市民」に特記しています。	無
13	2 14 23 46～51	基本計画の策定に対する歓迎の気持ちと、史料保存における危機感を持っている。 富士宮市の歩みを後世に伝える拠点が整備されることは大変意義深い。少年戦車兵学校の少年たちが実際に使用していた「学校の教科書」をはじめ、数多くの貴重な一次史料・公認資料を現物で保存・管理している。これらは戦時下の教育や技術、そして富士宮の近代史を物語る一級の歴史的遺産であるが、個人の管理には限界があり、将来的な散逸や劣化が懸念される。新博物館の整備を機に、こうした「市民や地域が眠らせている・守っている専門的な近代史料」の受け皿としての役割を強く期待したい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 基本計画（p3(2)①）にも記載してあるとおり、現在、高齢化や後継者不足により、大切な文化財の保存管理が危ぶまれている状況であり、また、1万点以上の文化財を保存している埋蔵文化財センターは浸水想定区域指定箇所となっています。大切な歴史文化材を守り後世へ伝えるため、他市への流出を防ぎ、また市民の皆様が安心して預けていただくことができるような博物館の建設・保存管理の仕組みを目指していききたいと思います。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
14	2 38 101～115	代替案の検討と民主的な手続きの欠如について 市は本計画の必要性を説明する際、「埋蔵文化財センターが浸水想定区域にあり老朽化しているため移転が必要」であることを主な理由として挙げている。この点については一市民として十二分に理解できる。しかし、「文化財の移転・保存が必要」という課題と「駅前交流センター駐車場に20億円超の新築博物館を建設する」という解決策は、別の話であるという根本的な問題がある。この二つを当然のようにセットで語ること自体が、市民に対する説明として不十分。 ■検討されるべき代替案の例■ ・既存公共施設の改修・転用：市内の利用率の低い施設や統廃合された学校等を文化財収蔵・展示の場として活用する。新築に比べて大幅なコスト削減が期待でき、国も廃校活用を積極的に推進している。 ・機能の分離：「収蔵・保存機能（バックヤード）」と「展示・公開機能（フロントヤード）」を同一施設に集約する必要はない。郊外の既存施設で収蔵し、展示は既存の市民文化センター等の一部を活用するという分離型も検討に値する。 ・段階的整備・暫定対応：まず文化財の安全な移転・保管を優先し、「どのような施設にするか」は市民参加のもとで十分な時間をかけて議論する。大規模新築の結論を急ぐ必要はない。 ・別立地への小規模新築：新築が必要な場合でも、なぜ「駅前交流センター駐車場」でなければならないのかの説明がない。駐車場機能を失うデメリットのない、浸水リスクの低い別の市有地への小規模施設建設という選択肢も	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ・P2にあるように、富士宮市が博物館を建設するに至った課題として、主に2点挙げることができます。1点目は、これまで文化財を最適な環境で収蔵する施設がなかったことに加え、埋蔵文化財センターが浸水想定区域に指定されたことにより、安心して収蔵できる場所を確保することが急務となったことです。2点目が、富士宮市にある素晴らしい歴史文化財を市民の皆様十分ににお見せできていなかった点です。私たちが考えている展示は、ただ展示するだけではなく、学芸員による説明や講座等と併せて実際に展示してあるものを見てもらい、感動や理解を深めていただきたいという思いがあります。そのためには、収蔵機能と展示機能を両方持ち合わせた施設が必要となります。 代替案について ・既存公共施設の改修及び別立地への小規模新築については、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとしますが、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設等の活用も含めて再検討することとします。 ・機能の分離については、上記の通り、一体的な整備が望ましいと考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		検討すべき。 これらの代替案を市民に示さないまま、「新築・駅前建設案」のみを前提とした基本計画の策定を進めることは、政策決定の手続きとして根本的に不十分ではないかと感じる。	・段階的整備・暫定対応については、機能の分離は考えておらず、収蔵物の避難としては、旧東京電力建物を検討しています。人口減少や少子化が進む中、早く博物館を整備し、より多くの人に郷土の歴史文化に触れていただきたいと考えています。	
		■ 民意との乖離について ■ 計画の是非を問う住民投票を求めて、わずか 1 か月間で条例制定直接請求に必要な有権者数（2,119 名）の 2 倍を超える約 5,000 名分の署名が集まった。これは一部の人の反対運動ではなく、多くの市民が現計画に疑問を持っているという明確な意思表示である。 市はこの重みを正面から受け止めるべきではないか。 よって以下を要望する。 ①「新築・駅前建設案」と、上記のような代替案を、建設費・維持費・文化財保護効果・市民利便性・リスクの観点から客観的に比較した資料を公開すること。 ②既存施設の改修・転用では不十分である理由を、データと根拠をもって市民に説明すること。 ③「何のために・どのような施設が必要か」という上流の議論の段階から市民参加を保障し、必要に応じて住民投票等の直接民主主義的手続きを検討すること。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ①②市の基本理念や委員会での議論により、都市機能を活かして歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとしますが、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、新築と既存公共施設の改修を総合的に比較し再検討していくこととします。 ③市民参加の機会としては、説明会やワークショップを行ってきました。その内容を委員会に示しながら、基本計画の内容を協議してきました。直接民主主義的手続きについては検討する予定はありません。	

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
15	3	項目ごとの内容が相互に関連するものであるため、項目の文面が他項の項目名や項目内容にも包括されるものである箇所が見られ、やや細分化しすぎているようにも感じた。また、項目同士が相互関係するものである旨にも言及があれば、よりいっそう、『それぞれの効果が関与し合い、好循環をつむぎながら前（未来）へと進む、らせん構造の矢印を織りなしていけるという眺望』、即ち、『これらの効果がそれぞれに単発で終わるのでなく、循環し合ってよりよく前に進んでいけるのだという眺望を市が抱いていること』が伝わりやすくなり、当計画の波及効果への期待も伝わりやすくなるように感じる。 項目①と②が、“③と⑤を包括する④”に繋がり、それは⑦でもあり、⑥に繋がり①へと循環することでまた②と③を進めていけ、それこそが④であるし、そのことが⑦であることは②の意義でもある、等、複雑に関与し合う構造に在ると感じるので、項目の分割が細かいように思う点と、相互関係への簡単な言及があるとよりよく感じる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 活用という言葉が広い意味であったり、①～⑦は相互に関係があつたりしますが、読み手にとって複雑にならないよう、博物館が生み出す主な効果について端的に挙げています。	無
16	3	『（2）④歴史文化資源の活用』： もしも現在の項目内容で行く場合には、この④の項目名が他項を包括する文面であるため、「活用」の箇所にもう少し、内容を絞り込む言葉がほしいと感じる。たとえば、『歴史文化資源のまちへの活用』、あるいは『歴史文化資源の市民生活への活用』などとなると、現在の項目内容に限定された項目名となると感じる。現在の項目名だと、③や⑤も活用なので項目を分けなくてもよいのではないか、と感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 活用の意味が広く、③や⑤も含む場合もありますが、文面から④が③や⑤と異なると理解できることから、現在の文面のままにしたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
17	3	このページにおいて、『これらが“市立博物館だからこそ抱ける効果”であると市が認識していることの明記』が、理解を得ていく上で重要と感じる。 このページに挙げられている博物館効果は、『博物館が、ことさらに市立という母体であると生じさせる、地域密着型の効果』を内容として有しており、視点としてもその姿勢で表現されているが、そうである旨の明記がないため、博物館になじみの少ない人であればあるほど、これが『市立だからこそ出来る、ローカルな活動』であることは理解できないように感じる。つまり、『「静岡県富士山世界遺産センターがあれば充分ではないのか」という声もあることを前提とし、“市立博物館が”富士宮市の課題に果たせる効果、という視点を意識的に文言にて盛り込む必要性がある』と感じた。『“このページで挙げる効果が、市立館だからこそ生じるものであること”＝“市立館を造る必要性、市立館を造りたい意図”』であることが文面にて明確に盛り込まれていくと、『世界遺産センターがあっても市立の博物館が必要である理由が誰にでも理解でき、世界遺産センターとの棲み分けが可能であることも理解できるようになる』のではないのでしょうか。 資料の文面からは、市がこちらの資料をまとめ上げる上で、『“市立博物館だからこそ、県立の、特に世界遺産センターでは扱えない、よりローカルなトピックスに密着し、地域や市民と協働していける点”や、“収集の母体ではない世界遺産センターと異なり、市立の博物館は、市内の「たから」を守り繋ぐために、拠点として効果を放てる点”』等の視点を前提とされていることが感じられ、効果として挙げる背景にその思いが在ることを感じられるが、博物館になじみがないと、ピンと来ない要素でもある。 このページで挙げた効果が、『“市立の博物館が”必要な理由』であることと直結しやすいよう、『市立だからこそその地域密着型の効果である旨』、明記されてはいかがか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 深く御理解いただきありがとうございます。計画に記載した内容はもちろん、富士宮市の市立博物館であるからこそその内容です。 世界遺産センターがあれば十分といった声もいただくことはありますが、本計画では市がこれから作る博物館としてこういったことができるお示しすることで伝わると考えるため、表記は変更しないこととします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
18	3	構成から、このページは前述の市の歴史文化資源面での課題に対する効果を述べたものとなっているが、文末に、『これら、広義の歴史文化資源面における課題への直接効果だけでなく、博物館は福祉や産業全般、子育て支援、芸術や文化活動の振興、医療など、多岐に渡る生活効果も期待できるものである（第4章に詳述）』といった旨の言及が一文、オプション効果として挿入されれば、第4章まで読み進める前からそのまなざしを掴みやすく、より広い人が、資料を自分事として読めるように感じた。『歴史文化資源面での課題に対する、博物館の有する効果』が、そこを経て更なる外輪へと伝播していく連鎖を基本計画から感じ取りやすくなると、博物館の有する波及効果の大きさを理解しやすくなると感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館の効果は、いただいた御意見のとおり、福祉や産業全般、子育て支援、芸術や文化活動の振興、医療など、多岐に渡る生活への効果も含んでいます。しかし、それについては、第四章の冒頭で様々な分野への拡大について言及しており、また、P3では、④に含まれるようなかたちになります。あえて、付け加えることは行いません。	無
19	3～5 23～24	統一計画の上位にあるのは、第6次富士宮市総合計画ではなく、ICOM(国際博物館協会 令和5年4月1日に改定された博物館法)。文化財の保護は、世界遺産であるノートルダム寺院の火災焼失、日本の沖縄の首里城焼失、ウクライナ戦争での世界遺産の被災など緊急で文化財をデジタルアーカイブとして次世代につなげる持続可能なSDGS運動として世界共通の統一規定となっている。ハコモノ建設ではなく、デジタルアーカイブとして残して復元可能な記録とすることが目的。富士宮市役所文化課が緊急で行う業務は、芝川の保存文化財のデジタル画像として登録されたエクセルでのデジタル台帳づくりをすること。令和10年3月までに富士の国ミュージアムをハブミュージアムとして登録させ文化庁の補助金2000万円の補助金が支給される。ただし外部に委託させた場合はこの補助金は支給されない。文化課職員で行うことが博物館法に規定されている。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 基本計画に記載してある関連計画は、国際法等ではなく、富士宮市における上位計画を記載しています。 また、富士宮市が活用を想定する補助金は、文化庁による補助金ではなく、内閣府や国土交通省のもので、建物に活用できるものです。 なお、基本計画にあるとおり、市が収蔵する資料や文化財に関する情報をデータベース化し、デジタルアーカイブの整備も推進していく計画です。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
20	4	改正された博物館法によると、新規に博物館を創設する場合、2つ以上の団体からの推薦が必要。申込期限は、令和8年3月3日までですすでに締め切られている。 学芸員同士のつながり組織は認めない。1つの実行委員会も認めない。審査承認は、文化庁審査会で承認された場合のみ補助金対象となる。 博物館の経営は、年間2万人以上の来館者の収益で、博物館の運営費(職員の人件費＋光熱費)の65%以上を補填出来た実績で補助金対象となる。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館の登録に2つ以上の団体からの推薦は必要でないと認識しております。 登録審査には、要件を確認し、申請していきます。県の博物館登録基準により県の教育委員会が登録することとなっていますので、県に確認して申請していきます。	無
21	4 24～27	令和5年4月1日に公布された改訂博物館法では、国会図書館システム図書検索にAIを活用して、検索作業を効率化するシステムを導入している図書館がある。利用者が質問を入力するとAIがキーワードを抽出し、図書システムが検索を行う仕組み。図書システムを介することで回答の曖昧さを減らし、より根拠のある回答を提供する。富士宮中央図書館の検索システムの中に芝川文化財をデジタル化したDX検索で子供たちに戯画スクール構想でタブレット学習させるのが持続可能な文化財の継承方法である。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館と図書館が連携したデジタルアーカイブ化は、歴史文化財を身近に感じてもらう機会となることや実際に見てみたいと思っただけの機会となること、また、学習機能の向上にもつながると考えられるので、将来的にはそのような連携も検討していきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
22	4 24 62	博物館を新規に建設する場合の補助金については、文化庁の補助金制度では、博物館や美術館に対して、文化財の保護や国際競争力の強化を目指した支援が行われている。 令和7年度（2025年度）には、博物館だけでなく、地域の祭り保存会やクリエイター育成機関なども対象となる補助金が用意されている。 補助金の申請には、対象となる制度を見極めることが重要で、特に「連携申請」が有利になる傾向がある。建設には、2つ以上の団体の推薦が必要で、静岡県教育委員会の登録と2年間の運営入場者数が年間2万人以上でかつ運営費用の65%以上の収益が証明されること。 したがって入場無料という条件は認められない。 補助金の対象経費には、人件費、会場費、機材レンタル費、広報費などが含まれるが、経常的な運営費は対象外となる。 デジタルアーカイブ作成を外部委託した場合には、補助金対象にはならない。期限は令和10年3月31日までと文化庁はすでに周知済み。 東京都の江戸東京博物館は、このため、令和4年4月1日から閉館して、デジタル化改修を終えてリバイバル開館した。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 令和5年4月に施行された改正博物館法では、博物館の登録及び指定に係る設置者の制限が撤廃されたほか、これからの時代に求められる博物館の役割が規定されており、「博物館資料に係る電磁的記録の作成・公開」に関する規定の整備（第3条第1項第3号）や「博物館における人材の養成及び研修」に関する規定の整備（第3条第1項第11号）、博物館等相互の連携・協力に関する努力義務規定（第3条第2項）、地域の活力の向上等に関する努力義務規定（第3条第3項）が追加されています。 文化庁では、博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進体制構築事業等における補助金があり、これは、補助事業者として、複数の団体で組織を構成すること、また、対象事業として、博物館資料のデジタルアーカイブ化や作成した収蔵資料のデータを50点以上ジャパンサーチへ連携する取組等を挙げています。しかし、これらは、すでに登録済みの博物館を対象とした補助金であり、富士宮市はまだ博物館がないため対象にはなりません。富士宮市では、文化庁の補助金ではなく、別の種類で、国の交付金や補助金を検討しています。	無
23	4 24 60	博物館法では、登録博物館として認定するのは、静岡県教育委員会で、認可期限は令和10年3月迄。認可条件は、台帳及び文化財をデジタル画像で管理し、静岡県のハブ博物館であるふじのくに地球環境史ミュージアム	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
24	4 24	デジタル化を努力義務と記載されているが、法令で、「電磁記録として学校や生涯学習として公開する。」と明文化している。努力義務ではない。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
25	4	富士宮市の計画のトレーサビリティだけで、国際博物館協会ICOM京都議定書、博物館法2025年4月改定法とのトレーサビリティが全く記載されていない重大な違法行為不適合。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
26	4 24 60	静岡県で博物館として申請登録する場合、静岡県教育委員アーカイブ会で、所蔵する資料がすべて台帳管理がエクセルで電子アーカイブとして登録されて ①ハブ博物館のふじのくにミュージアムとリンクしているか ②1年間の入場者が2万人以上で、光熱費+人件費の合計額の65%以上の収益があるか ③事前に静岡県教育委員会に相談しているのか？ これらを怠った場合は登録博物館として認可されない。したがって統廃合の対象施設になる。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
27	4 24	文化庁が博物館法を2022年4月に大幅に改定し、博物館DX構想とデジタルアーカイブ化について追加している。全保管文化財をデジタル化させて、かつ2D・3D画像化させた上、文化庁が設定したジャパンサーチというプラットフォームに掲載して、2つ以上の団体の推薦を受けて文化庁に申請し、管理博物館認定を受け、年間2万人以上の観覧者が見込めた経営計画を出して承認されても、文化庁の上限補助金は3,000万円だけである。 静岡県立図書館は、このため資金不足で中止された。今、文化財のデジタルベース化が必須の業務。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
28	4 24	浅間大社は世界文化遺産構成要素だから、3D動画を撮影してデジタルアーカイブとして同じく文化庁のフォーマットである世界遺産オンラインに掲載が義務付けられている。実行しないと富士山は世界文化遺産登録を抹消される恐れがある。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 世界遺産は、開発や環境悪化等により、世界遺産としての価値が損なわれた、保護できなくなった等とユネスコが判断した場合に、登録抹消されます。現在も浅間大社は、文化庁の文化遺産オンラインに掲載されています。 しかし、基本計画に記載してあるとおり、今後、市が収蔵する資料や文化財に関する情報をデータベース化し、デジタルアーカイブの整備を推進していく必要性は認識しておりますので、博物館の建設と並行して文化財のデジタル化も進めていきたいと考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
29	4 24	文化庁主催の博物館DX法の説明会で補助金が開設されていて、文化財をデジタルアーカイブ化する場合、外侮委託した場合は補助金は支給されないが、登録台帳をエクセルなどで手書き台帳から電子媒体にして文化庁のプラットフォームに博物館DXとして登録した場合の補助金上限は500万円、すでに既存の博物館として登録されているハコモノ博物館のデジタルアーカイブ事業には最大2000万円の補助金が出るとYOUTUBEで放映されている。江戸東京博物館は令和4年4月から閉館してこの博物館DX工事を終了して博物館として登録された。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
30	4 24	文化庁は、教育・障害学習の場をデジタルアーカイブとして位置付けている。これは、日本国民の75%が、スマホやパソコン等から情報を入手しているため。 新規に博物館を建設する場合は、保管している全文化財をデジタルアーカイブとして電子台帳に登録して、周辺自治体の登録博物館とネットワークで紐づけてから、2つ以上の委員会の推薦をもって、静岡県の場合は富士の国アーカイブに登録申請をした上で、文化庁の設定したプラットフォームのジャパンサーチに登録し、令和10年度期末までに文化庁に申請することが改定博物館法で定められている。改定博物館法は、令和5年4月1日に公布され、新たに博物館の経営という項目が追加されており、収益が年間運営費の65%以上でかつ来館者数が年間2万人以上を見込める根拠を数値化した上で審査され、登録博物館として認められる。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ なお、博物館法が改正される以前に登録された博物館において、改正後の博物館法に基づく審査・登録を受ける期限が令和10年度期末までとなっており、富士宮市にはまだ博物館はないので対象ではありません。 また、改正博物館法に経営の項目は追加されていません。 「収益の65%…」については、博物館法の対象ではない独立行政法人の国立博物館に対して、その管轄である文化庁、文部科学省、財務省により5年間の中間目標の中で示されましたものであります。	無
31	4 24 101	文化庁に確認したが、新博物館法ではデジタルアーカイブのみの博物館に登録できる。ただし現物を保存して、研究など特別な申請があった場合は、現物を開示できるように保管すること。空き教室などは、遮光フィルムを張れば許可するそう。文化庁の博物館法を解説したYOUTUBEの質疑応答編に開示してあるとのこと。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 千葉県の大網白里市デジタル博物館が、全国で初めて常設の展示施設を持たない博物館で登録博物館の認定を受けました。 本市の目指す博物館では、実物やレプリカも交え、実際に訪れて見ていただく博物館です。デジタルアーカイブは、「事業」の一つとして取り組んでいきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
32	4 24	文化庁が改正した博物館法で新規に受付審査する場合の申請方法の手順は、保管するすべての文化財の台帳をデジタルアーカイブ化(エクセル)し、周辺の博物館とネットワーク化した上で、文化庁のプラットフォームであるジャパンネットワークに登録博物館として申請することである。文化財を所有する場合の手順書が文書化されており、個人判断とならないことが規定化されて、博物館法との紐づけがトレーサビリティとして文書で証明されることが登録の条件である。下記に文化庁が登録博物館としての審査基準を示すURLを添付する。 https://museum.bunka.go.jp/wp-content/uploads/2023/10/ad7a927919fa52089bbfff91193d6f08-1.pdf	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
33	4 24 60	令和5年4月1日に制定された博物館法では、博物館という枠に図書館も入るから、富士宮中央図書館もデジタル・アーカイブ化して、芝川埋蔵文化財のすべてをエクセルで登録して、インターネットを通じて閲覧可能にすることが、令和10年3月31日までに実施することが、文化庁から通達されています。 この通達によって、浜松市立中央図書館では所蔵文化財をデジタル・アーカイブ化して、静岡県内ですでに登録博物館として認可されました。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 改正博物館法では、博物館資料のデジタル・アーカイブ化や情報公開の努力義務化、他施設との連携強化等について記載されています。また、令和10年3月31日期限というのは、改正以前に登録された博物館において、改正後の博物館法に基づく審査・登録を受ける期限であり、富士宮市にはまだ博物館はないので対象ではありません。ただ、基本計画にあるとおり、市が収蔵する資料や文化財に関する情報をデータベース化し、デジタルアーカイブの整備も推進する必要性は感じていますので、今後推進していきます。また、図書館は法律上博物館と別になりますので、登録博物館として認可されることはありません。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
34	4 32	令和5年4月に施行された博物館法において、ハブ博物館は静岡県立富士の国ミュージアム。 富士宮郷土史博物館を作るとしたら、クラウドファンディングなどの寄付金だけで建設し、静岡県教育委員会で審査され登録されることが義務付けられている。これを令和10年3月期末日までに、所有する文化財台帳をエクセルなどの電子媒体で記録して公開する事。 認可条件は、 ①文化庁のプラットフォームであるジャパンサーチに登録する事。 ②年間2万人以上の入館者実績があり、博物館の全経費の65%以上を賄えていること。 ③建設促進員会他2団体以上の推薦があること。 ④文化財として判定する明確な規定書があり、この規定書は国の博物館法まで遡及するトレーサビリティを文書で体系化し説明がなされていること。 上位規定はユネスコが定めた文化遺産議定書である。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
35	14	基本計画14ページでは、埋蔵文化財センターが浸水想定区域にあり、資料の安全な保存が課題であるとされている。 しかし、この課題は収蔵施設の移転や保管環境の改善によって解決可能であり、中心市街地に大規模な博物館を整備する理由にはなっていないと考える。 中心市街地にはもっと活用される施設や必要とされる施設が必要だと考える。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 市の歴史文化についての課題は、収蔵環境と市民に歴史文化を伝える環境が整っていないことです。それらを解決するために博物館を整備することとしました。 市が目指す博物館は人づくりの拠点として、市民や多様な利用者に富士宮市の歴史について知っていただき親しんでいただける施設を目指しています。そのためには、都市機能を活かして歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
36	15	資料15ページでは、市民が歴史文化資源に触れる機会の創出が求められているとしている。 しかし、利用者数は令和7年度で447人と記載されており、市民全体のニーズが十分に示されているとは言えない。 大規模施設の建設前に、市民アンケートや利用需要の検証をより丁寧に行うべき。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 資料は埋蔵文化財センターの利用状況になります。埋蔵文化財センターは、交通の便も良くなく、また、展示施設ではなくスペースもかぎられるため、魅力を感じていただける展示ができていない現状です。そのため、埋蔵文化財センターの利用状況が博物館の利用状況に直結しません。また、博物館の基本構想策定以降は埋蔵文化財センターの利用者数も増加傾向にあります。	無
37	15	年間の需要が3桁でどうやって運営して行くのか。 他にやることは沢山ある。 新しくハコモノを建ててキックバックでもあるのかと疑う。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 現在の埋蔵文化財センターは、展示を主とした施設ではなく、交通の便もよくないところにあります。博物館では、多くの方が訪れやすい場所で、より魅力的な展示や講座などを行い、多くの方に活用していただける施設にしたいと考えます。	無
38	20	出会いの場とあるが、博物館で出会うなど聞いたことがない。そんなにハコモノを作りたいなら市民が交流できる施設を作った方がよほどマシ。とにかく採算が取れないものは反対。 少なくとも今やることではない。 理念が甘い。一般の企業だったら即却下。	【単に賛成、反対の結論のみを示した意見のため反映しない】 訪れた人が、知らなかった歴史・文化に出会い親しんでいただく場になればと考えます。また、あらゆる世代の方が気軽に訪れて交流や活動をとおして出会ったり、博物館がハブとなって、個人・団体、大学研究機関等とネットワークを構築していき、今までにない出会いが生まれると考えています。 博物館は社会教育施設であり、公民館や図書館のように、採算のとれる施設ではありません。一般企業ではできない事業であるからこそ、市が歴史文化を守り活用するために行う事業であると考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
39	20	基本理念が曖昧。「市民が、郷土・富士宮市への愛着と誇りを持ち、…」とあるが、そのようなことは何を根拠に言えるのか。説明会では、小中学校の富士山学習と結び付けて話していたが、それが今の子育て世代のバックボーンにはならない。もし、富士山学習で郷土を愛する心を育てていたら、今の少子化、学校の統廃合、若者世代の他地区への流出等は起きない。 「人づくりの拠点」とあるがその具体像がはっきりしない。2023年12月14日に行われた柚野地区の「文化財保存活用地域計画 地域説明会」では、地域の文化財の掘り起こしのための意見を地域から聞くという趣旨だった。その時出た意見によって調査が進んだとか進展するということは何もなかった。結局やったという事実が大事だったように思う。文化課が郷土の歴史に対してその程度の思いや認識しかないのに博物館をつくって人づくりと言っても納得しない。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 教育委員会として、富士宮市の未来を考えたときに、富士宮市の素晴らしい歴史文化を伝え後世へ継承することが責務であると考えています。 博物館で富士宮の歴史文化を見て、学んでいただくことで、郷土を知り、それが市への愛着や誇りを育むことにつながると考えます。富士山学習も郷土を学ぶ一つであり、同じ役割もあると考えます。少子化や人口減少は、全国的な問題です。もちろん、それが即効性のあるものでなく、また、全員に該当するものではありませんが、歴史文化の面での種まきとして、一人でも多くの人の心に残るものになればと考えます。 文化財保存活用地域計画では、地域の皆さんにどのような文化財があるかたくさん教えていただきました。それらは、計画としてまとめ、昨年12月に文化庁から認定をいただきました。文化財保存活用地域計画は、社会の変化によりこれまでのように行政と所有者だけで歴史文化資源を守り伝えていくことが難しいことから、地域全体で守っていこうとするものです。そのためには、市民の皆様に地域の歴史文化資源とその価値を再確認していただき、守っていくための調査や事業について計画に示されています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
40	22 41 47～51	博物館の利用目的として、歴史資料収蔵および展示・市民交流・学習活動・ワークショップ・イベント・観光など多岐にわたる目的を持たせようとしているが、3F建ての面積は、富士市のかぐや姫ミュージアムの半分程度になる。この広さですべての機能を賄うことができるのか。狭くて使いにくく利用者がいない施設とならないか懸念している。 また、そもそも歴史資料収蔵が一番の目的であれば、今後史料が増えて来た場合にどうするつもりなのか不明。P41に今後の増加を考慮すると書かれているが具体性に欠ける。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館は、単に展示をするだけではなく、収蔵、研究、教育など様々な事業を行う場です。過大に大きな建物をつくらず、身の丈にあった博物館としたいと考えます。空いた公共施設を収蔵に活用したり、周辺の施設と連携することで会議室等を活用したりと周辺との連携も計画しています。 収蔵については、現状の資料のボリュームを調査したうえで面積を検討しています。	無
41	22～29	郷土史資料の保存・継承の重要性は理解する。一方で、施設整備そのものが目的化することなく、どのような価値を市民に提供するのかという視点から、より丁寧な議論が必要と考える。 特に、収蔵・展示内容、調査研究機能、市民参加の仕組み、学校教育との連携など、運営面（ソフト面）の充実が重要である。 また、全国の成功事例・課題事例を分析し、富士宮市としてどのような博物館を目指すのかを市民に分かりやすく示して欲しい。 さらに、市民の郷土への理解や関心を高める人材育成の取組みと一体的に進めることが、持続可能な施設運営につながると考える。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 基本理念にあるとおり「富士宮市の歴史・文化を学び未来を拓く、人づくりの拠点」となる博物館を目指しており、市民の皆様が集い、歴史に親しみそして学び、郷土愛を育むこと場所となることが重要であると考えています。 計画を策定する中で、他市の博物館の状況も確認していますが、今後も、市民が何度でも訪れたい場所となるような事業（ソフト）を充実させていきます。 収蔵・展示内容、調査研究機能、市民参加の仕組み、学校教育との連携、人材育成等については、基本計画の事業活動に記載のとおり取り組んでいきたいと考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
42	22～29 32～33	「市民コレクター・民間団体」と博物館との協働・デジタルアーカイブ化の推進について 計画案にある「資料の収集・保存」において、行政主導の収集だけでなく、当方のように「すでに特定のテーマで貴重な史料を多数保有している市民や民間団体」との緊密な連携（寄託・寄贈の相談窓口の開設や、共同でのデジタル化など）を進めて欲しい。高精細なデジタルアーカイブ化を行うことで、実物資料の劣化を防ぎつつ、博物館の展示や学校教育の現場、さらにはインターネットを通じて世界中に富士宮の貴重な歴史を発信することが可能になる。私たちボランティアや史料保存に関わる側としても、資料の提供や現地の案内などで、新博物館の活動に全面的に協力・連携していく用意がある。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 デジタルアーカイブ化には、膨大な資料の量もあるため、マンパワーも必要となり、市民との協力ができるとうれしく思います。 基本計画策定委員会においても、すでに活動している既存のネットワークとのつながりを活用したほうが良いのではないかと意見を頂いており、博物館をハブとして、個人や団体等とのネットワークの構築に努めていきたいと考えています。 また、基本計画の事業活動計画に記載してあるとおり、歴史文化資源に関する情報を収集・整理し、デジタルアーカイブを推進することで、調査活動や研究、発信等に生かし、富士宮市の歴史・文化への理解を深める機会や教育の普及に努めていきます。	無
43	24 27	子どもたちの富士山学習にかこつけているだけ。無理やり需要を作り、博物館を建てることありきで進んでいるようにしか見えない。 子供たちが博物館を欲しがっているとは思えない、全くもってナンセンス。文化会館の一角にあったレベルで十分。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 文化会館にあった郷土資料館で展示していたものは、富士宮市が保存している歴史文化財の本当に一部です。富士宮市にはもっと多くの貴重な歴史文化財があり、今、十分な展示場所がないためお見せできなくてとても残念に思っています。子どもたちだけでなく、大人も含めた市民の皆様が富士宮市の歴史文化に触れる機会を提供し愛着を育むだけでなく生きがいや豊かな時間を過ごしていただけるよう博物館建設の計画をしています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
44	24	『A-3』 「富士宮市の歴史文化資源に関する情報」の蓄積において、美濃加茂市の例では、市の広報誌での地域資源に関する紹介等の連載記事もデータベース化されているそうで、連載と連動した展示も行なっているとのこと。富士宮市でも、広報誌での多角的な取り組みと連動する形で展示を行ないながら、それをサテライト展示の更に入り口へと位置づけるなど、生活に身近な内容をデータ化し蓄積していく取り組みができないか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 データベースについては、今後推進していかなければいけない事業ではありますが、現段階では詳細について決まっていません。今後の参考とさせていただきます。	無
45	24	『A-3①』 「収蔵資料データベース」について、「資料に関する情報」を実際に蓄積されていく上で、『収集経緯の情報』も可能なものについては蓄積されるのならば、エピソード性による取っつきやすさとなり、利用者同士のコミュニケーションの契機となるなど、楽しみが増すものと感じた。計画内容での明記は必要のない詳細だが、実際に取り組まれる上で、そうした取っつきやすさもある、楽しいデータベースとなるとありがたいと思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 44と同じ	無
46	24	『B-1』 「WEB サイト」と「データベース」とが並列されているため、「WEB サイト」にてデータベースへとアクセスできるのか否か判断しにくく、どちらなのか気になった。即ち、「WEB サイト」内にデータベースをデジタルアーカイブとして包括するのか否かが気にかかった。『データベース化やデータベースのデジタル化と、それをデジタルアーカイブ化することとは別であるため、データベースのうち、デジタルアーカイブとしてWEB公開される部分がある』という受け取り方でよいのか。 デジタルアーカイブにはインターネット公開などによる共有を伴うことを前提とされているが、データベース化とそのデジタル化そのものには、必ずしもWEBからのアクセスを伴わないため、富士宮市のデータベースがどのように共有されるのか気になった。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 データベースについては、WEBで公開することを念頭に整備していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
47	24	『B-2』 ②で「市民等による調査研究の成果を蓄積する場として、歴史文化資源データベースを構築」とあり、③では「歴史文化資源データベース、市民等による活動の成果にアクセスしやすい環境」とあるため気にかかったが、『③でデータベースと活動成果とが並列されているのは、②の「市民等による調査研究の成果」は③の「市民等による活動の成果」に包括される内の一部であり、完全なる同義ではない』という解釈でよろしいか。即ち、『③で言及する“市民活動”は調査研究に留まらぬ広域のものであり、それに包括される内の、②で言及するような特に調査研究の成果を、歴史文化資源データベースに収める。それ以外の活動成果全般について、③で併記したように、歴史文化資源データベースに留まらぬ広域のものとして集約する（たとえば、データベースではフォーマットを揃えるが、それに落とし込めないものをデータベースとは別に、関連データとして集約する）』と受け取ったが、その受け取り方で良いか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 そのとおりです。③の「市民等の活動の成果」は②「市民等による調査研究の成果」よりも広い活動全般になります。	無
48	24～27	博物館の建設計画について、大変ありがたく思う。 富士宮市は、富士山のおかげでどの時代を切り取ってみても歴史と文化に恵まれた地域である。世界へ発信するほどの気概と理念を持って素晴らしい博物館を完成させて欲しい。 今回は子育て世代としての視点から述べたい。 自身が小中高生の頃は、小規模な郷土資料館しかなく、歴史や文化に興味を持つきっかけがなかった。今、少子化の時代だからこそ、子どもたちと丁寧に向き合い、先人たちから受け継がれた歴史と文化と誇りを伝えるべき。ただ、高額な建設費がかかるので、サービスの満足度や博物館の価値の向上を工夫する必要がある。以下を提案したい。 また、お願いとなるが、夏休みなど図書館や学習室のフリースペースが満席になってしまうので、高校生、大学生、大人に向けて、広めの学習室の提供をお願いしたい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 学校の自由研究等を通じて、何度でも継続して学ぶ機会や親子で利用できる機会、また、実際に史跡に行っていたく機会をつくることができ、様々な輪が広がっていく様子は、私たちが目指している博物館の取り組みでもあり、大変参考になります。 高校生によるボランティアスタッフや富士宮市郷土史検定については、研修制度や方法をしっかりと検討する必要がありますが、博物館は、市の学芸員だけではなく市民と共に学びつっていきたいと考えております。 富士宮市の歴史文化財を守り後世へ継承していくため、市民の皆様がアイデンティティを確立し郷土愛を育むことができるよう、今後とも取り組んでまいります。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		○市民1人あたりの利用率を上げるには、小中高生にいかにも足を運んでもらうかを考えると効率的。 ・社会科見学として博物館を利用 →わが子の学びが広がれば、親世代の満足と理解が得られる。 ・夏休みの自由研究のサポート…学芸員に場所ごと、時代ごとの講座を行ってもらう。論文やレポートの書き方をスタッフやボランティアに指導してもらう。 →実物の写真撮影等のため、親子で史跡見学を行い、親も博物館に訪れる機会が増える。親子の共同作業が生まれる。次回の自由研究でも利用する可能性が広がる。 ・富士宮市郷土史検定を実施…対象は主に中高生とし学校へアピールできるものとする。ペーパーテストだけではなく、博物館や史跡への訪問回数も含める。 →生きた学びとなり、人の動きもつくれる。 ・高校生によるボランティアスタッフの活動…館内の見学者への案内や説明をしてもらう。 →メディアにも取り上げてもらう機会になる。周りの大人も行ってみようという気持ちになる。 博物館は、決して一部の歴史愛好家のためのものではなく、富士宮の歴史を知らない市民こそ、富士宮市民としてのアイデンティティを確立し地域への愛着を持って安心して暮らしてもらう最大のツールになる。30億円という目先の捨て金ではなく、50年後100年後の未来の富士宮への大きな投資になると考える。	なお、学習スペースについては、日によって多目的室の開放ができるか等、今後検討します。	

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
49	25	『B－3』 「市民等による調査研究の成果を館内で展示」とあるが、芸術作品なども文化資源の一つなので、この『B 調査研究と成果の発表 一富士宮のたからを掘り起こす一』内でなくてもよいが、芸術作品も館内展示に活用できそうだと感じられる箇所がどこかにあると、より裾野を広く受け取りやすいと感じた。芸術作品も、今の富士宮における“文化的な「たから」”の一つであり、一瞬後には歴史となるもので、これから先、富士宮の博物館が続いていく上で、“今”の美術工芸作品とも関わっていくことは、それらの情報、データなどの収集と集約にも繋がるものと感じる。 計画においてあまり具体的な表現である必要はないが、『博物館にて集約対象となる市民活動とは調査研究のみなのか、“市民の活動全般”なのか』を、資料からは掴みにくい。収蔵スペースや人的物的リソースの限りを考えると、この博物館で資料の対象をあまり広域としていくことは難しいかもしれないが、実物での収集が特に難しいかもしれない市民の現在の活動について、デジタルデータとしての蓄積をされていく場合、たとえば“今の芸術”なども対象となればありがたいと思う。資料においてはこの調査研究の項目でなくても構わないが、この博物館で扱える市民活動の自由性と多様性について、楽しさの裾野として、期待している。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 芸術作品の展示は、テーマなどによって博物館で実施したいと考えますが、収集については、市に関係するものの状況や他市の状況を勘案して資料収集方針に合わせて検討したいと考えます。	無
50	25	『C－1④』 「来館前から来館後まで」とあるが、データベースも、「WEBサイト」などを介して、館外でも利用できると受け取ってよいのか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 データベースについては、WEBで公開することを念頭に整備していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
51	25	『C－1 取組例』 『博物館で見学後に構成資産めぐり』という例における想定として、同日内の動線と、日を分けての動き、どちらを主に前提とされているのか。富士宮市の博物館は、展示スペースだと、『情報量の密度・濃度として、2～3時間ほどじっくり観てちょうどいいくらいを目安とした内容ボリューム（あるいは、1時間から1時間半程度観た上で体験型プログラムをひとつ利用するくらいの動線を想定している）』と解釈してよろしいか。博物館で見学後に市内観光という動きについては、『市内観光も、市民ならば日を分けやすいけれど、市外の観光者における同日中の動線を想定するならば、“博物館を見て市内も見ることを前提とする”場合、展示の内容の濃さがあっさりする可能性もあるのかもしれない』と感じ、気にかかる箇所であった。静岡県富士山世界遺産センターとの棲み分けも意識したとき、例示に「世界遺産構成資産を訪れる」動線を挙げるよりも、より地域密着の現地訪問の足がかりとなる要素を挙げるほうがよいと感じる。即ち、ここで例示に「強力くん」を挙げることは、『それは世界遺産センターではだめなのか、市立の博物館である必要があるのか』という疑問視や混乱にも繋がるものと感じる。よって、たとえば駅前から市内各地へと移動する動線などを例示されるほうがよいと感じた。あるいは、既存の移動手段に限定せず、『今後、その時扱っているテーマ展示に合わせて何コースか回遊パターンを提示していき、乗り合いタクシーなどで、より関心を持ったところを回れるような動線を構築していく』ようなことも、今後の連携事業次第では、提示可能となる取り組みになる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 展示は、じっくりみて2時間程度になるものを想定していますが、博物館を見学された方が、どのような人か、例えば普段から歴史を研究している人であるのか、小学生なのか、また、展示物への興味や知識量によって、同じ展示物であってもみる時間は異なってきます。「強力くん」による世界遺産巡りは一つの例として挙げています。また、市民だけではなく観光客の世界遺産巡りを視野に入れると、日を分けずに訪れることができるコースを提供することや、希望者が選べるように複数のコースを提示することもある必要があると思いますが、具体的な取組みについては、今後検討していきます。 博物館は、市民を主な対象としていますが、観光面における効果も含んでいること、また、基本理念や事業活動計画に主な対象を市民としていることを記載しているため、観光や回遊に関して市民を強調する表現はしていません。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		また、資料全体の構成から、基本計画で述べる市内観光、市内回遊、市域への訪問作用について、主に市民対象を想定し、観光者はそのオプションの波及効果であると受け取ったが、そう受け取るまでに何回か拝読する必要がある、観光というと“市民の市内のそれ”よりは“市外からのもの”を想定しやすくなる語であり、無意識下に市外からの観光を想定しやすかった。観光や、他ページにもある回遊等の語に関する部分においては特に、適宜、『特に（ことさらに）市民の』といった語を足すと、より語弊が減り、意図も正確に通じやすくなったと感じた。		
52	25 54～58	静岡市の歴史博物館建設後の反省として、建物ありきで、展示内容の議論が不足していた点が挙げられる。展示内容について議論した後に建物設計に入るべき。展示内容は、次のものを希望。 【1】富士宮市の歴史・文化と、自然を背景とした人々の営みを一体的に紹介して欲しい。人間の歴史だけではなく、大地の歴史と今後の予測展示を以下のように展示してもらうことを希望する。 ①富士宮地域はかつて海だった⇒②海底が隆起⇒③溶岩と泥流土が堆積（「富士宮の歴史 自然環境編」に記載してあるような内容）⇒④未来予測：富士山は地下20kmにマグマを有する活火山で噴火する。フィリピン海プレートは、約5cm/年 潜り込み続けており、活断層がズレ動く。 【2】富士宮防災対策コーナーの設置を希望。 ・大沢崩れ砂防ダム（現状の防災施設）：富士砂防事務所と協同で設置した富士山噴火観測機器の設置状況 ・大倉川ダム：芝川の水を引き入れる遊水地 ・星山放水路：潤井川の氾濫防止 【3】その他の展示希望コーナー 「湧水」「市の魚ニジマス」「市にゆかりのある人」「市の名産品」	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 御提案ありがとうございます。展示の詳細な内容は、展示の基本設計で検討していきますので、その際参考にさせていただきます。市民の皆様からの意見も取り入れながら展示事業を展開していきたく考えています。防災も大切なテーマの一つになると考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
53	25～26	資料25～26ページでは、常設展示、企画展示、体験型展示など多くの展示機能を整備する計画となっている。 しかし、市民が繰り返し訪れたいくなる施設となるのか疑問。 まずは収蔵機能を整備し、展示は既存施設や企画展を活用しながら段階的に進める方法も検討するべき。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 富士宮市が博物館建設に至った課題の一つとして、富士宮市にある素晴らしい歴史文化財を市民の皆様に十分にお見せできていなかった点があります。これまで富士宮市では、郷土資料館において無人のスペースで展示することしかできませんでした。が、学芸員による説明や講座等と併せて実際に展示してあるものを見てもらい、感動や理解を深めていただきたいという思いがあります。そのためには、収蔵機能と展示機能を両方持ち合わせた施設が必要となります。市民が何度でも訪れたいくなるよう、来館のたびに新しさを感じられる展示を基本方針の1つとしています。市民や学校等と協力して展示物を作成したり、地域ごとの展示を企画したりして、市民の皆様に博物館を身近に感じていただけるような工夫をしていきたいと考えております。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
54	26	『C－2』 「親しみやすい展示」について、子どもだけでなく、ライトな関心の大人においても、楽しめるものであることを期待する。「親しみやすい展示」であることで、『どんな年齢でも、年長者や友人に連れてきてもらいやすい』環境ができ、これは、『連れてきてもらう』という交通手段の確保と、利用機会の創出に繋がる。また、この博物館が「障害の有無や言語にかかわらず、市民や多様な利用者が等しく、楽しく学べる」場となるために、デマンド型交通など市内全域から博物館まで足を運びやすい交通手段・訪問手段を確保し利用機会創出につながる事が重要。連れてきてもらいやすいこと、そのほか各種交通手段確保の容易さに期待する。 加えて、展示や解説において、『年齢・関心・理解力のステージ』に応じて情報量や内容の難度を切り替えられる仕組みや仕掛けがあるとよりよいと感じる。文字情報がさほど読めない者にも感覚的に伝わるキャッチーな情報の提示や、イラストと簡単な言葉によるクイズなど。なお、展示の多言語対応について、キャプションやパネルなどを必要に応じ更新していくにあたり、頻繁な情報やりとりが生じる上で、専用の、多言語対応コーディネイト係が運営部門に存在するのか、気にかかった。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 興味関心や知識の量など見る人によってさまざまですので、詳しく知りたい人にも、わかりやすい展示で楽しみたい人にも、それぞれのレベルに合わせて楽しんでもいただけるよう、P58（4）展示解説にありますように多様な利用者に向けて、展示も工夫していきたいと思います。 交通機関が確保できるとよいと考えますが、課題も多いので、今後の検討課題といたします。 多言語対応については、コーディネイト係までは想定しておりません。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
55	26	『C－2』 「親しみやすい展示」について、参加型展示としての親しみについて述べた。 「模型、ジオラマ、グラフィック」等について、参加型によりそれらを作ることが有用だと思う。市民全般、学校での利用、あるいは市外からの利用者など対象者を広範囲とし、館内や公民館で模型作りのワークショップに参加したり、学校内で作業したり、学校から博物館に赴いて皆で展示に携わる経験をしたりすると良い。小中学校だけでなく、大学や高校などとの関わりもできるので、県内外との連携や、交流都市の学校との連携、留学生との関わりとしても、取り組める分野になるかもしれない。 富士宮市でも、先日、「大鹿窪遺跡復元住居作りワークショップ」が開催されていたが、こうした、楽しく参加しながら考え、研究に触れられる企画は、愛着の持てる展示、「親しみやすい展示」に直結するものと感じる。博物館において、展示内容の楽しさや平易さと併せて、模型やジオラマなど、利用者の参加を積極的に活用できる分野について、今後も、こうした取り組みに期待する。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 展示の参考意見とさせていただきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
56	26 58	『C－2 取組例』/『（４）展示解説』 「WEB サイト上でワークシートなどを掲載」とある点について、非常に素晴らしく、楽しそうだと感じた。子どもだけでなく、楽しく学びたい大人、楽しみたい人、学びたい人全般にとって、博物館を利用する意欲となりリピートにも繋がるように感じる。 このワークシートについて、『館内での学習行動の助けとなるものに留め、採点の全面的ではないかたち（採点があるとしても、全面的ではなく一部は採点しないなど）』であれば、ありがたく思う。これが、博物館という自由な思考と学びと感情の場の特性を、リテラシー育成の場として、失わない上で重要であると感じるため。また、ワークシートについて、難易度の目安に、学年、年齢、学習進度や知識関心の程度の設定をしても、個々人の実際の関心や理解の程度と博物館やワークシートの利用が初めてなのか否か等に応じて、学校での利用時でも、本人の学年目安と異なるものにも取り組める仕組みがあれば、ありがたく思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ワークシートの活用について、具体的な内容は今後検討していきますので、参考にさせていただきます。市民や利用者からの意見を反映し、その都度改善できればと思っております。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
57	27	『D 教育と普及』 『D-1』にあるような、「あらゆる世代の人々が、富士宮市の歴史・文化に親しみ、理解を深めるための多様な学びや体験の機会を提供」していく上で、交通の便に関する市の取り組みに期待する。特に、子どもたちの学びのために、市が移動手段の提供を助けていけないかということと、この博物館が学校教育だけでなく、地域の子ども会、寄り合い処の多世代交流などにも活用しやすくなるよう、デマンド型交通等との連携や、駐車場の確保、『連れてきてもらいやすい』敷居の低さにも期待する。市が民間と連携し、交通手段確保の助けをしていけないか。たとえば、各小学校から博物館へとまとまった人数を移動させられる貸し切り車両をひと便など確保しておき、学校ごとのニーズに応じて計画的に派遣できれば、この博物館が、市民から見て、よりいっそう人づくりに寄与しやすい施設となってくるのではないかと感じさせることができる。また、『授業外でもデマンド型交通の利用しやすい環境が構築され、子ども同士の少人数グループが博物館を訪れたい時に、気軽に、無料ないしは費用の一部負担のみで車両を利用可能となる』ならば、バスの便の悪いところからでも、家の車で送ってもらえない日中でも、博物館を利用しやすいのではないか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 交通の確保は、課題も多いため、今後の検討課題といたします。 なるべく市民が訪れやすい場所がまちなかであると考えていますが、より積極的に連れてきてもらいやすい形がとれるとより気軽に利用しやすい場所になります。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		『富士宮の博物館における観光面への寄与』について、資料からは、あくまで市民の充実、人づくりがメインの博物館であり、市外観光者の博物館利用は、オプション効果に留まる。市内回遊についても、市民自身のそれを特に意図する』という姿勢だと解釈できるが、そう認識するために、該当箇所を注意深く確認し直す必要があった。『観光、回遊』といった語は、外部向けと思いついて読んでしまう箇所もあったため、言葉の補いが必要であると思われる。『富士宮の博物館が、市民における人づくりを理由として観光に寄与する』なかでも、立地のメリットで言及があるように、市外観光者の利用も視野に入れているため、『D 教育と普及』においても、『市民の人づくりを主としながらも、市外観光者においても、市民という受け皿からの作用だけではなく、市外観光者自身にも直接学びがあること』を想定しやすい表現があった方がよい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ご意見の通り、まずは市民を対象としたうえで、市外観光者ももちろん対象とします。体験していただく内容は同じであるため、積極的に市外観光者に向けた説明はしておりません。	無
58	27	『D-1』 「学びや体験の機会」の一つとして、高齢者に向けたプログラムや、高齢者に限らず利用者全員に促せる作用として、『博物館を利用して抱いた感想や感情、思考などを作品に表現したり、利用者同士で言葉でも交わせる催し』も、『どの世代でも、いつでも学びに来られる場』で在る上で有用と思われる。対象は高齢者でも多世代でも、館内の展示に触れ、コミュニケーションを交わし、制作した作品を、もし可能であれば館内の壁面や、企画などで一定期間展示し、その後、本人の将来へと『今と思い出』を届ける贈り物として、返却する（本人に来館してもらい、その時展示替えされている展示も楽しんでもらえるような、繰り返しの訪問の機会となることも可能）、といったものを行なっていければ、今と未来を生きる楽しみのひとつとして、博物館の企画が機能すると思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 おもしろい取り組みだと考えます。今後展示や学習プログラムの企画に際して参考にさせていただきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
59	27	市民の関心が低い状態、市民の理解が得られない状態で施設だけ作ると、将来、「立派だけど誰も使わない施設」になりやすい。 むしろ、市民研究員・郷土史ボランティア・子ども向け学習・地域ガイドなどを育てる仕組みが必要。 これは単なる博物館整備ではなく、「地域文化の担い手育成事業」として考えるべき。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 御意見をいただきましたとおり、市だけではなく、市民や団体と共に学びつくっていく博物館にしていきたいと考えております。基本計画にも記載があるとおり、ボランティアやガイドの育成プログラムを展開していく計画です。	無
60	27	学芸員の活用について、プログラムの立案など携わっていただく事は可能か。 ボランティアの方も大切だが、知識のある方も必要だと考える。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 学芸員の資格をもった市民でも、資格のない市民でも運営に携わっていただくことは可能と考えます。詳細は今後検討していきます。	無
61	28	『E-1①』 例にある「伝統文化の保存・継承団体」との連携において、たとえば富士宮囃子ならばデモンストレーションの開催や、団体と個人との結び目として、博物館がまちの継続に寄与する。たとえば富士山学習や個人の研究において、富士宮囃子を扱いたい人が居るとき、自身の住む地区を超えて広く体験や見学に行ける仕組みが今既にあるのか、ないとしたらこの博物館によるネットワークでそういったことも可能となるのか、興味深く思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 現在は、そのような仕組みはありませんが、富士宮市の歴史や文化の理解を深めるためにも、博物館をハブとしたネットワークの形成や企画により、幅広い体験ができればと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
62	28	『E-3』 「富士宮市の活性化につながる新たな取組の創発」において、芸術、美術工芸や文芸なども視野に含まれるのか気になった。資料全体からは、それらは明確には対象となっていない印象を受けるため、この博物館が各種文化活動全般の接点や枢軸として作用していくのか否か、気にかかる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館で扱う資料は、富士宮市の歴史文化資料となります。それらを基に各団体・個人が連携してあらたな取組が創発されることを想定していますが、連携した結果として、美術や美術工芸等の成果が創発されることは構わないと感じています。 芸術や美術工芸等も連携対象です。 芸術文化は歴史ともなじみやすいと考えます。検討していく中で、新たな視点も出てくるかもしれません。資料全体をとおして明確な記載はしていませんが、様々なテーマも取り扱う可能性があることを含んだ構成・内容となっているため、表現としては特に追記等はせず現状のままとさせていただきます。	無
63	33	『連携先と連携事業（例）、個人・団体』 「観光ボランティアや国際交流に取り組む個人及び団体」と連携することが出来ると思われるが、定期的な展示替えや内容更新にあたり、やりとりの頻度は高いと想定されるので、そのための調整係が存在するのか。また、「多言語対応」全般において、こうした連携事業以外の一般的な翻訳の依頼なども日常的に行なうのか、それとも連携事業による対応を主とするのか。「多言語対応」について、国際交流都市の縁や交換留学生の仕組み等を活用していくことも有用に思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ネットワークの構築や事業展開を円滑に進めるため、コーディネート担当職員を配置することを計画しています。 多言語解説は、説明版やWEBの活用を想定していましたが、現場での協力ができるとよいとおもいました。参考とさせていただきます。	無
64	33	『連携先と連携事業（例）、行政』 「地場産品の販売支援」について、産業も地域の歴史文化資源、文化財と捉えている点を素晴らしいと思うが、そのぶん、芸術活動との連携は資料から感じにくいいため、芸術面との連携にも期待したい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館で扱う資料は、富士宮市の歴史文化に関する資料となりますので、積極的な芸術面との連携は想定していません。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		『連携先と連携事業（例）．生産者』 本施設での「地場産品販売」と「ミュージアムグッズの共同開発」について、芸術作品に関する販売（主にポストカード等や作品集などの物販）であったり、芸術作家・制作活動をする市民と連携したミュージアムグッズがあることも面白いと感じる。	地場産品やグッズ等の販売や開発について、販売規模や方法もこれから検討していくので、その際参考にさせていただきます。	
65	33	『連携先と連携事業（例）．民間企業・観光事業者』 「回想法の実践」など、高齢者福祉に関して博物館の取り組める実例に言及のある点をととても素晴らしく思う。資料全体を通して、現在意図的にされている構成では、こうした多様な裾野の取り組みは、オプション効果に留められているが、裾野の広域性の印象が全体的に増すと、博物館の必要性がより伝わりやすくなると感じた。 また、今の高齢者については現在所蔵している昔の民具でこの「回想法の実践」が行なえるが、今の若者が将来の高齢者になったときどうするのか。『昔、博物館で触れた“その時点より昔の暮らし”があったなあ』とするのか、それとも、『“今”の生活の記録もしていき、“今”を将来的に回想法の対象としていく』のか、気になった。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 いただいた御意見のとおり、今の高齢者に対する回想法の実践が、未来の高齢者に対する回想法の実践には合わなくなります。今が歴史になっていくため、これから少しずつ、今のものも残していく必要があります。これは、資料収集方針等で検討していきます。	無
66	33	『連携先と連携事業（例）．地域資源』 「民俗芸能の実演」をととても良く思う。ただ、実演の場所としてどこを予定するのか。館外、現地や公民館などで行ない現地への足がかりともするのか、それとも館内のエントランスや多目的スペース、休憩スペース等なのか、多目的スペースはともかくエントランスの場合はスペースがあるのか、等、気になった。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 内容によって、館内、館外どちらの可能性も検討できると思いますが、実際に実演等を行う場合は、連携先の要望や考えも踏まえて検討していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
67	36	基本計画36ページでは、「必要な機能の全てを整備できる既存建物がないため、新築することとします」とある。 しかし、既存施設の活用や分散保管などの選択肢について、市民に十分納得できる比較検討結果が示されているとは思えない。 まずは収蔵機能を優先し、既存施設や遊休施設の活用を最大限検討すべきであり、新築ありきの計画は見直すべき。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 P2にあるように、富士宮市が博物館を建設するに至った課題として、主に2点挙げることができます。1点目は、これまで歴史文化財を最適な環境で収蔵する施設がなかったことに加え、埋蔵文化財センターが浸水想定区域に指定されたことにより、安心して収蔵できる場所を確保することが急務となったことです。2点目が、富士宮市にある素晴らしい歴史文化財を市民の皆様十分ににお見せできていなかった点です。私たちが考えている展示は、ただ展示するだけではなく、学芸員による説明や講座等と併せて実際に展示してあるものを見てもらい、感動や理解を深めていただきたいという思いがあります。そのためには、収蔵機能と展示機能を両方持ち合わせた施設が必要となります。しかし、新築には限定せず、既存公共施設の活用も含め、比較・再検討することとします。	無
68	37	「周辺地域の景観に調和したデザインとします。環境への負荷をできる限り低減した施設とします。」 こんなのは本気でいらない。 ただ見積金額を上げただけにしか見えない。 環境負荷を考えるならそもそもハコモノなど作るべきではない。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 より良い富士宮市のまちづくりを考えたときに、景観に調和したデザインや環境負荷を考えた施設にするべきだと考えますが、高価なものを作ろうとしているわけではありません。	無
69	37	『2施設整備方針、4』 「景観や環境に調和し、市民の誇りとなるような建築デザイン」とのことだが、省コストの範疇にて楽しさやひと工夫を少しずつ盛り込んで欲しい。省コストでもたのしい内装の工夫が少しずつあるとありがたいと思う。また、建築デザインそのものをシンプルとしても、市内のアート作品や市民活動のパネルなどの展示を活用することで、『定期的に印象の変わる内装』とすることも可能。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 景観、環境、費用等様々な点に配慮しながら、市民の皆様が何度も訪れたくなる建物となるよう努めます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
70	38	『（１）検討方法』 建設地の決定にもっと市民が直接関与できればよかったと感じた市民がい らっしゃるのではないかと。決定までのプロセスに、ワークショップと見学ツ アーと策定委員会以外のかたちで、もっと広く、市民全体の参加の工程を得 られればよかったと感じる。建設場所決定について、説明会の対象を市域全 体とし、その場で出た意見によっては場所の見直しもできるプロセスがあれ ばよかったと感じる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討に なるため反映はしない】 基本計画に記載のとおり、立地場所については、市民説明会、 ワークショップ等をとおして市民の意見を聞き、その内容を策 定委員会で報告し、都市型と郊外型のメリット・デメリットや 市の所有地であることを踏まえて検討してきました。今回、説 明会等で市民の皆さんからいただいた意見も踏まえ、立地場所 を再検討していくこととします。	無
71	38	建設場所について、現在更地になっている病院跡地を市で買取る事は可能か。 市民文化会館、中央図書館、浅間大社と、人づくりの拠点とする博物館の立 地に最もふさわしい場所。そして、駐車場、集客力、人の流れは、候補地と して最適と思う。よろしくお願いします。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討に なるため反映はしない】 御提案いただいた場所は、集客力や周辺施設への回遊性等から 人づくりの拠点としてふさわしい場所であるとは思いますが、 コスト面等も考慮しながら改めて立地場所を再検討していきま す。	無
72	38	博物館の建設場所は「富士宮駅前交流センター駐車場」としますとあるが、 少子化で子供が少なくなるので、新築するのではなく、二中と大宮小を合併 して大宮小を県埋蔵文化財センター（庵原高校跡地）のようにしたらどう か。博物館と道の駅のような機能を含めて複合の施設にして街のにぎわいを 生み出したい。富士宮市が持っている財産を利用して博物館、道の駅よう な施設を作って欲しい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討に なるため反映はしない】 立地場所について、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及 び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。 また、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既 存公共施設の活用も含めて再検討することとします。 今後、公共施設の再編も考慮し、再編により空いた小中学校等 の既存施設を改修した場合と新築した場合について、総合的に 比較検討したいと考えています。 また、周囲と連携して、街の賑わいを生み出す取り組みは行っ ていきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
73	38 103～105 114～115	きらら駐車場に文化財保護施設を作るのは反対。もっと広い土地に建ててほしい。できれば立体駐車場（3階）を完備してほしい。日陰に車を停めたい。車椅子でも子ども連れでも、暑い日も雨の日も、立体駐車場だと安心して停めることができる。利便性に大きく関わる。そして、市民が涼むため休憩場所として利用できるように広く作ってほしい。 富士宮駅から宮バスで通るようにすれば、観光客も行きやすいと思う。 また、カフェを併設してほしい。コンビニが横にあったら最高だと思う。 文化財を守ることは素晴らしいが、狭い立地に無理やり建てるのは反対。市民が寄り道したくなるような、そして観光客も少し休めるような場所になってほしい。 本当は、貴重な財源は子育て支援に使ってほしいが、文化財を守ることも大切だと思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 立地場所については、都市型と郊外型のメリット・デメリットを考えながら検討してきました。今後、「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。 多くの方に気軽に立ち寄って利用していただくには、やはり、まちなかの立地が良いと思われます。また、様々な方が利用しやすいよう、市民交流スペースやキッズスペースも計画しています。 駐車場をどのような造りにするかについては、設計の段階で検討していきます。	無
74	38 101～115	税収が足りてない中、なぜわざわざ今建物を建てるのか。駐車場がなくなりもっとまとまった場所にするなり学校後地など利用してもらいたい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 高齢化や少子化が進む中、博物館を早く整備して、より多くの人に富士宮市の歴史文化を知っていただきたいと考え取り組んでいましたが、物価高騰が続き市民生活においても先行き不透明な状況であること、また、今後、富士宮市立学校再編計画を策定する予定もあることから、立地場所を「新築」には限定せず、既存公共施設等の活用も含めて再検討することとします。 ただ、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
75	38 101～115	何故狭い所にわざわざ建てるのか。駐車場の問題も有る。税収が少ないのに何故建てるのか分からない。		
76	40～42 56～57	多目的及び交流スペースは不要。 テーマ展示はもっと考えて欲しい。 ほかの文化資源も大切にしたい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 多目的室は学校等の団体向けの講座や調査研究の発表の場として想定しており、必要と考えます。 また、交流スペースは、市民が気軽に訪れる場所、そして、展示等へ誘導し、多くの人が歴史文化に親しんでいただくきっかけの場所として計画しております。 その広さや配分等は今後設計のなかで検討してまいります。 テーマ展示は、多くのテーマを取り上げ、入れ替えができるように計画しています。内容については十分検討してまいります。	無
77	41	『市民研究室』 「来館者から活動の様子が見えるよう工夫する」とあるが、研究目的での利用希望者において、個々の気質や特性（先天的な理由も後天的な理由も含めて）などから、『研究に利用したいけれど人から見えるのは嫌だ、恥ずかしい、人目があると集中できない』などの気持ちを抱く人もいるケースも想定できるため、市民研究室の中にも、来館者から比較的に見えづらい場所のゾーニングなどがあると、より様々な事情の誰でも、利用しやすくなると感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 市民研究室については、もちろん、見せないこともできるよう配慮いたします。また、交流スペースには、いただいたご意見のようなことができるとよいと考えています。詳細は今後検討していきます。	無
78	42	『利用者サービス・交流スペース』 「博物館利用の入口・きっかけとなるサービス・交流スペース」において、市民や市内団体のミニ・アート展、サークル活動の報告パネル、その他催事全般（個人・事業者・生産者等）など、広く市民や市内各所と連携していけると、博物館利用のきっかけとしてアプローチできる裾野が広がると感じる。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
79	47	文化課長から「今、しっかりと保存しなければならない歴史的貴重な資料がある」という話があったが、それは理解できる。そのための面積は、基本計画を見る限り310.7㎡となっているので、その面積は必要だと思う。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 現在、歴史文化資源を適切な環境で保存できていない状況であるため、保存環境をしっかりと整えたいと思っています。御理解いただきありがとうございます。	無
80	47 101～102	博物館ではなく、郷土歴史資料館をつくってはどうか。どうしてもしっかりとした設備で収蔵しなければならないものは310.7㎡なので、建設計画している博物館の7分の1の面積で良い。建設費も7億円程度でできるはず。また、建設場所も、反対意見の多いきららではなく、今後、統廃合が予定されて廃校となる学校、特に県立高校の跡地であればなお良い。耐用年数について、説明会で言っていたが、その頃には富士市と合併し、博物館にしないで良かったということになる。 大鹿窪遺跡が日本最古級の縄文草創期遺跡と言われても、見に来る人は、ほとんどいない。富士宮市民さえ興味はあまりない。郷土の歴史への思いはその程度。むしろその日をどう生きていくか、子育てをどうするか等生活に関わるの方が現実的。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 富士宮市が博物館整備に至った課題として、収蔵だけではなく、展示の面からも認識をしており、富士宮市にある素晴らしい歴史文化財を市民の皆様にご覧いただく機会がなかった点です。そのためには、収蔵機能と展示機能を両方持ち合わせた施設が必要となります。 今後、公共施設の再編等も考慮し、既存公共施設を改修した場合と新築した場合について、総合的に比較検討したいと考えています。博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとしますが、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。 大鹿窪遺跡への来訪者が少ないという点については、地域の皆様が尽力されているなか、文化課としても非常に残念であり、今後も興味を持っていただく取り組みを続けていきたいと考えます。もちろん、博物館もその1つです。	無
81	49	耐火性・耐震性について、「十分な耐火・耐震性を確保する」と記載されているが、「十分な」だけでは分かりにくい。具体的な数値を示して欲しい。建設後は、博物館の入口にその数値を標示して欲しい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 具体的な数値等は建物の設計については、基本設計の段階で検討します。その表示の有無についても、その必要性を専門家や他館の状況を確認しながら判断していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
82	49 57 66 109	新博物館の機能について（防災拠点・シェルター機能の付加に関する提案） 新博物館の建設に当たっては、単なる歴史資料の展示・保管施設にとどまらず、富士山噴火や大規模地震などの有事において、市民や駅周辺の利用者の命を守る「防災拠点（防災シェルター）」としての機能を一体化させた複合的施設とすることを強く要望する。「富士宮の過去（歴史）を学ぶ場」であると同時に、「富士宮の未来（市民の命）を守る場」という2つの重要な役割を持たせることで、税金を投入するにふさわしい、真に市民から歓迎され、必要とされる施設になると確信している。 <多額の公金投入に対する市民の納得感> 建築資材の高騰等により、整備費が当初想定より膨らむ見通し（約26億～30億円規模）であると報じられているが、この計画案なら増額もやむなしと考える。ただし、主要な展示物（例：絹本著色富士曼荼羅図など）がレプリカ中心となることが想定される中、従来の「博物館機能」のみでは、この巨額の投資に対して多くの市民の理解・納得を得ることは難しいと考える。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館は、展示保存スペースがあることを考慮すると、防災の拠点とまでは困難ですが、緊急時の避難場所として十分活用していただけたと考えます。 市民により活用していただくため、博物館機能だけでなく、気軽に立ち寄っていただけるよう、市民交流スペースやキッズスペースなども計画しています。もちろん、そこから、歴史文化を楽しんでいただけるよう、誘導もしていきたいと考えます。	無
83	49 109	<富士宮駅前という立地を生かした有事の対応> 建設予定地（駅前交流センター「きらら」周辺）は、災害発生時に交通機関が麻痺した際、多くの帰宅困難者や避難者が発生する場所である。ここに強固な耐震・免震構造を持つ公共施設を建てるのであれば、救助物資の備蓄倉庫や自家発電設備、サテライト防災本部として機能するスペースを初期設計の段階から組み込むべきである。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 建物の設計の詳細については、基本計画ではなく、基本設計の段階で検討していきます。富士山噴火による災害やゲリラ豪雨など様々な災害リスクが想定されるため、災害リスクに備えた建物としてどのような機能が必要か、専門家の意見も取り入れながら設計の段階でしっかりと検討していきます。サテライト本部としてまでの位置づけをする予定はありません。	無
84	49 109	<富士山噴火（降灰・噴石）を想定したシェルター化> 富士宮市にとって最大の懸念である富士山噴火に対し、文化財を保護するための「気密性の高さ」や「頑丈な構造」は、そのまま市民を降灰や微小噴石から守る避難シェルターとして転用可能である。火山灰を除去できる強力なフィルター付き換気設備の導入など、ハード面での防災対策を求める。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
85	54～58	少年戦車兵学校の遺産から「朝霧高原開墾（戦後復興史）」へとつながる常設展示を提案したい。 富士宮市上井出・朝霧エリアの近代史は、単なる戦争の記録にとどまらず、終戦時、少年戦車兵学校に残された牽引車等の機材は、戦後の深刻な食糧難を救うために始まった朝霧高原の開墾において、原生林や強固な火山性地質を切り拓く極めて重要な役割を果たした。また、同校の卒業生や復員兵の多くが開墾の先駆者（パイオニア）としてこの地に留まり、現在の酪農地帯・観光地としての朝霧高原の基礎を築かれた。新博物館においては、当方や神社が保有する「少年戦車兵学校の教科書や各種資料」を展示・活用し、そこから「戦後の重機を用いた朝霧高原の開墾、そして現代の発展」へと地続きでつながる、富士宮ならではの劇的な平和・復興のストーリーを常設展示の支柱として位置づけて欲しい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 テーマ展示において、「朝霧高原開墾」または「戦争」・「上井出村」などをテーマにした際の展示内容として活用できると考えます。 画展示の詳細な内容は、展示基本設計で検討していきますので、その際参考にさせていただきます。 それぞれの地域に関する歴史や戦争等に関する様々なテーマ展示、また、ストーリー性のある展示を市民の皆様と協力して共に作っていきたいと考えています。	無
86	54～58	富士宮市民は大宮城という名前は知っている人が多いが、具体的な姿や果たした役割等について知っている人は少ない。完全に復元することは難しいが、石垣や敷地等を復元し歴史公園をつくってもらえば、富士宮市の歴史に触れる機会が増え、郷土に愛着を持つ心が育つのでは。大宮城を郷土愛を育てるシンボルにしたい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 大宮城は、現在の大宮小学校の場所にありました。現在、学校として使用しておりますので、歴史公園の整備は現状困難と考えますが、大宮城の姿を展示等で皆様にお示しすることは、検討していきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
87	54～58 101～102	6月4日富丘交流センターで開催した説明会に参加した。資料を精読し、担当課の方の話も伺うことで熱意は伝わったが、よくありがちな案であることは否めない。どこにでもある没個性の施設。手慣れた業者が作ったからか。デジタルラボくらい芸術性の高いデジタル施設なら付加価値はあるが、自分の住む町に誇りが持てる施設の姿は見えない。 魅力的な博物館、資料館とは何か…町の特色をわかりやすく伝えているかということ。 旅行のついでだけでなく、企画展の面白さに惹かれて各地の資料館や博物館に足を運んだ経験から魅力的な博物館の姿を考える。市町村に設置された施設は展示内容も充実して面白かったが、大概貸し切りで施設職員とマンツーマン状態だった。そんな中、掛川城や、小泉八雲記念館などテーマが絞られているものは ドラマ以前だったにもかかわらず、企画展に惹かれて多くの方が来ていた。何でも盛り込もうとすると人を惹きつけないことは明白。その上で何をテーマにするべきか考えていく。 人々の生活と歴史を考える上で、地形、街道などの人の流れは無視することができない。特に、今はより本来の姿で再現したりと本物を求める傾向にある。ガラスケースに入った土器などは見た目だけでは差はわからない。どこで出土したかが肝心。 日本全国で、農業や生活様式也大差ない。違うのはやはりその土地ならではの自然である。 他の地域に比べて圧倒的なビハインドを持つ富士山がある富士宮は富士山の恵みと災害を中心とした歴史がある。それは多くの方の興味を引くもの。 古くから多くの人を惹きつけてきた富士山を中心に形成された道の歴史を中心に考える。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 様々な情報やアイデアをありがとうございます。展示の詳細な内容は、展示の基本設計で検討していきますので、その際参考にさせていただきます。市民の皆様からの意見も取り入れながら展示事業を展開していきたいと考えています。 歩く博物館のビジターセンターについては、現段階では検討しておりませんが、博物館で見学した後に、歩く博物館で文化財の現地へ向かうことは、理解や感動をより深いものにすると思われるため、企画や広報をしっかりと検討していきたいと考えます。 静岡南高校の跡地のように既存施設を利用することについては、今後、公共施設の再編等も考慮し、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。ただし、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。 また、世界遺産センターともお互いに連携して事業を展開できればと考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		①縄文の道 現在山梨県も取り組んでいる。富士山の噴火にも埋もれず残っている縄文の道はそれだけで現代人にとっても興味深い場所である。 さらに近年は、東北、北海道の縄文遺跡が世界遺産になるなど注目も高く、縄文の芸術性に着目したアーティストたちも多くいる（岡本太郎など）。 この観点から大鹿窪に出土品を管理展示する建物と住居、祭祀跡など実物を見ることができる施設を作り、縄文の人が火砕流を避け眺めた富士山の姿を感じてほしい。 ②鎌倉の道 海から富士宮に向かう途中巻き狩りをした原野を一望したであろう安居山に歩く博物館とリンクした施設を作る。縄文時代の終わりに起きた富士山の大規模な山体崩壊により沼久保から沼津まで広く埋まってしまったが、たくましい人々はその上に生活を始め安居山から山の裾沿いに弥生時代古墳時代の遺跡が点在しているのも災害史を考える上で興味深い。 当時、今の中心市街地は湖底だったかもしれない。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		③戦国の道 今の富士市 当時は大宮であったかもしれない杉田に近い場所で武田北条今川の三国同盟が結ばれた富士山の登山道に通じる道もあり当時海沿いの道がガレ場の為に使いにくく富士宮を通るルートが頻繁に使われたことは想像できる。関東の武田を滅ぼした織田信長が富士宮浅間大社に立ち寄ったことも意外ではない。その後京都に戻りすぐに本能寺で死す運命だったのも感慨深い。大宮城址はほとんど無くわずかに城山の名前が残り、今の城山公園がいわゆる後詰の山だったであろうと想像できるのみであるが、富士宮市と戦国時代を考える上では重要である。つまり今の城山に野球場ではなく浅間大社の宝物も展示でき、 戦国ロマンも体験でき、湧水につても学べる施設の建設が望ましい。浅間大社で徳川家康寄進の社殿の見学もできる。各地の城や神社には宝物殿や資料館が必ず近くにあり観光客は当然のようにセットで向かう。そうすれば浅間大社を中心に世界遺産センターと対になり一体感がある。どうしても城山に野球場を作らなければならないならば療育センターコアラの機能を児童会館や保健センターに統合し今後の少子化に向けて専門家の効率良い配置を図り、今のコアラの建物を博物館に転用してはどうだろうか。まだ新しい建物である。障がい者教育は人的支援が一番大切なので、立派な建物が必須ではないと思われる。コアラは浅間大社や長屋門にも近く街歩きのルートとしては最適である。旧大宮町の中心として。角田先生の功績にも触れやすく平等寺などの寺社にも近い。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		④明治の生糸産業と身延線の歴史と富士宮やきそば 現在の候補地に一番じっくりくるテーマだが、生糸も焼きそばも富士山の豊富な水が重要であることは間違いない。できれば実際の水を体験してもらったほうがいいと思われる。一番近いのは旧オーミケンシ イオンモール富士宮内にある湧水だが、イオンモールの中に博物館を建てることはできないだろうが、子供たちの目につきやすいので定期的に企画展をモール内で行うことも可能である。 ちなみに今の場所は昭和の時代女性を買うことができる場所として全国に知れた場所だったそう。 ⑤歩く博物館ビジターセンターの設置 内容が非常に充実している歩く博物館シリーズは、今のウォーキングブームやフィールドワークにピッタリである。もっと多くの方に歩んでもらいたい。観光協会の中に設置してもいいが、富士急行の協力を仰ぎ補助金を出してでも路線バスをスムーズに使えるようにし、子供でも参加できるようにする。強力君の拡充などに予算を使ってほしい。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		まとめ：物語の構築 現在日本の漫画などでは異世界転生、タイムスリップなどは相変わらず人気。世界的にも認められている。 リアルな資料を基に富士山とご先祖様の物語を魅力的に発信していくことが重要だと思う。 クリエイターの方の力を借りてお金をかけて継続的に発信していくことが大事。 静岡県立美術館のように個性的な館長の下発信されていく企画には多くの方が惹きつけられる。 富士宮市にも奇石博物館の入場者を増やすことに貢献した水越さんという立派なアーティストがいる。日展入賞常連のアーティストなど生かすべきアーティストとの連動も図るべき。 建物の建設よりも継続的な人への投資をしていくことが今後の人口減少の時代には最も重要だと思う。今後は人手不足により益々維持費がかかる時代になることは容易に想像できる。大事な税金は上下水道など社会インフラの維持に回すべきである。衣食足りて礼節を知る。安心できる生活こそ文化歴史に親しむ余裕を生む。 静岡南高校跡地に作られた静岡県の環境史ミュージアムのように富士宮地域で統廃合が計画されている県立高校跡地を資料保管研究施設として借用することも視野に入れば、既存建物を利用する際の耐用年数問題もクリアできると思われる。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		さらには個人の懐かしい気持ちも大切に後世に伝えていける。 展示に関しては世界遺産センターの企画展示室も借用できることだ。世界遺産センターの展示に連動して富士宮の歴史を伝えれば非常にわかりやすいと考える。富士宮市オリジナルの映像を視聴覚室で流すこともできると思う。そのために、世界遺産センター入場者に対する駐車場割引券の設置も求める。駐車料金がかかる公立の博物館は都内以外で見たことがない。イオンの駐車場利用ありきの計画も違和感がある。 最後とりとめもなくなったが、良識に期待し参考にさせていただけることを望んでいる。		
88	54	『1. 2 来館のたびに新しさを感じる展示』 「展示替えを行いやすい構成（展示ケース、キャプション等）」について、キャプションやパネルに電子ペーパー、デジタルサイネージなどを利用予定か否か、資料のどこから掴みたく感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 現状未検討です。展示の詳細については、展示の基本設計の段階で検討いたしますが、デジタルサイネージ等電子機器の利用も検討したいと考えています。	無
89	54	『1. 3 市民と共につくる展示』 「展示の改善を目指し、来館者アンケートなどを実施」とある点について、紙でのアンケートや、WEBサイト上などでのアンケートを行なわれる際には、回答したいと感じた利用者がアンケートへとスムーズに誘導される動線があることを期待したい。 実際の運営時のこととなるが、たとえば、『ひとりひとりの、“私の文化財”』などのテーマで市民や市内事業者の思う文化財を募集した企画展を行ない、写真や絵画、工芸、文章などで参加できるようなものもあると、市民とつくる展示の裾野が広がると感じる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 アンケート、展示とも今後検討の参考といたします。 展示においては、企画展などで市民が参加できる展示も実施していきたいと考えます。	無
90	55	『（1）総合展示 <展示要素>』 「市域の歴史の変遷（原始・古代～現代）」について、企画などで、『今のままの場合（あるいは負の要素が進行した場合）、未来の富士宮はどうなるのか』という、負を含めた未来の可能性を扱うことも、博物館が社会の課題に向けて取り組める側面なので見てみたい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 アンケート、展示とも今後検討の参考といたします。 展示においては、企画展などで市民が参加できる展示も実施していきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
91	56	『（２）テーマ展示』 テーマの入れ替えと内容の更新は、資料の収集や整理においても、広いテーマについてまんべんなく、定期的に見直すこととなり、収蔵品を広く管理する上でも有用だと感じる。運営時には、このための収蔵品の整理や見直しにも職員の作業時間を充分確保できるよう、人員を現在よりも増やしたり、あるいは、企画展業務を軽減する工夫が必要となる可能性があるのか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 展示は主に学芸員が担当します。人数は限られていますので、展示更新の度合いによっては、職員の負担が増えることとなります。人員を簡単に増やすことはできませんが、展示業務以外を調整するなど、効率的な運用形態を検討していきます。	無
92	56	『（２）テーマ展示』 「入れ替えによりすべての地域を紹介できるように」する点について、文面ではテーマから一つずつ選び掘り下げていくものを想像していたが、p.57のイメージ図からは、『その時点での全テーマのうちいくつかを抜粋し、並行して展示する』という印象を受けた。テーマごとに使用スペースが異なる可能性も推測されるため、『一定のテーマ展示用スペースに対し、テーマから選択的に組み合わせで展示する。ひとつで埋まるテーマのある可能性も否定できないが、基本的には幾つかを組んで徐々に入れ替える』というイメージで良いか。 複数テーマを同時に扱う場合は特に、テーマ同士のストーリー性や、対比効果なども生じてくることがあると、よりいっそう、学びを多角的にできる楽しい施設になると感じる。また、「富士宮市文化財保存活用地域計画」とも関連させて、「地域に縛られない特徴あるテーマ」を、扱うことも可能だし、複数地域にまたがる内容について、複数地域のテーマ展示を同時に扱うなかで、地域間の共通性や繋がりとして表現することも可能。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 テーマ展示の想定は、イメージいただいたとおりです。テーマごとの組み合わせも意識したり、ある程度のまとまりをもったほうが、見る人にもわかりやすいと考えます。様々な方法が考えられますので、今後検討していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
93	56	『（２）テーマ展示』 「ユニット式などの展示替えしやすい展示設備」とある箇所の、『ユニット』の語について、イメージが二つ想定できたがどちらか。 ユニット式として想定されたものの一つ目は、『テーマ展示用の展示台設備として、連結可能な壁型（ケース型）やパーテーション型などの展示ユニットを用い、それを必要に応じて組み合わせて、テーマごとに中身を入れ替えていく』形式。これは、かさばる壁型（ケース型）でも連結や折り畳み収納の出来る点が、必要なスペース分だけ使用でき、不使用時に省スペースであるほか、パーテーション型では可変で多目的に使いやすいと聞く。 ユニット式として想定された二つ目が、『テーマごとに、それぞれのベースとなるような展示ユニットをオープンなパッケージとして構築しておき、それぞれ別個に展示台などの設備を有させ、展示する内容をテーマごとに適宜、可変とする』もので、策定委員会の会議録ではこの二つ目と推測できるユニット式でだったが、コンパクトに造る博物館での収納を考えて前者に変わっている可能性もあるため、このユニットという語に、もう少し補足情報が欲しい。 『テーマ展示のスペースに展示ユニット（壁型／ケース型、パーテーション型など）を組み合わせ使用していくことで、展示台の使い方を省スペースでも多様に確保しつつ、組み合わせた展示台の中身をテーマごとに入れ替えていく』、というイメージでいけばよいのか、それとも、『テーマごとに個別にユニットを構築しておいて運び替えるもので、展示の都度中身の調整をする』というイメージなのかを、資料から掴みやすくなるとありがたい。 また、いずれの場合も、その時展示に使用していないユニットの収納場所は、博物館施設の内部と外部どちらを想定しているか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 後者のユニットを想定していましたが、使用しないユニットの保管スペース等を考えた際、展示の中身だけ入れ替えができる形がよいかと検討しています。 入れ替えは、展示内容のほんの一部だけ変更することもあれば、例えば小学校の団体が来館する日には、その地域に合わせた展示を出すなど、さまざま考えられます。 入れ替えについては、HP等で確認できることがよいと考えています。 いずれにしても、最終的には、展示の設計の中で決定していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		併せて、テーマ展示部分の入れ替えかたについても、気になった点がある。展示替えは、テーマ展示内の全体を同時期に総入れ替えするのか、それとも、たとえば5ユニット分テーマ展示の区域があるとして、そこから1～2ユニット程度ずつ、スライド式に替えていくのか。総入れ替えよりスライド式のほうが、『反映内容の構築作業をした時点から、展示替え作業完了までの間のディレイが少ない』ように感じるが、『総入れ替えにより、“その時扱っているテーマ展示が、一律でいつ時点の情報に基づくのか”の大まかなバージョン日時を揃えておくことで、いつ頃の情報ベースか利用者が意識しやすい』ようにも思えるため、どちらがより、市の博物館にとって効果的なのか。		
94	57	「展示」ではなく「体験」が良いかと思う。 外神東公園や児童館らっこは、子育て世帯の皆様にとっても人気で好評。「博物館」を子ども達が楽しめる場所にして、課長さんがおっしゃっていたように「ついでに」富士宮の歴史に触れることができたと思う。 例 ・富士宮市内の各高校のプロジェクトとして、それぞれの体験ブースをつくる（毎年2年生が担当して毎年変える）。 ・企業の体験ブースをつくる。1年ごとにいろんな企業を入れる。また、企業としては広告宣伝ができるので、年間費をいただき、維持・運営費に加える。 ・郷土史にからめて、子育て、家事、介護の体験ブースをつくる。若い子達に明るくて楽しい未来をイメージしてもらう（少子化対策の一環として）。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 体験のご提案ありがとうございます。 計画するキッズスペースでは、歴史文化に触れるきっかけとして、そこから展示に足を運びたいような場所にしたいと考えております。 また、いただいた具体的な例につきましては、ぜひ今後検討するソフト事業の参考にさせていただければと思います。高校や企業などとの連携は、計画にも合致しますし、広告料などの取り組みも検討したいと思います。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
95	58	『（５）サテライト展示』 p.56『（２）テーマ展示』についてでも述べたが、テーマ展示用のユニット内容や構築ノウハウについて、それをサテライト展示にも応用する予定はあるか。テーマ展示のユニット内容を、その原文脈に近い箇所への出張展示へと応用したり、本館と連動して現地にてサテライト展示をするなど。 『サテライト展示用の展示設備をひと揃い用意しておき、市内各地を転々とさせる（あるいは、何組か用意し、出張展示の拠点はほぼ据え置きとして、展示設備の輸送を減らす）。展示する資料だけ収蔵場所から出張先へと輸送する。パーティション型設備（ケースを外付けできるもの）やデジタルサイネージを使用し、パネルなどの平面情報はUSBメモリのデータを替えるだけとする。本館と出張展示とで連動した内容を扱ったり、本館のパネルと同じ内容を展示することもできる。館外に常にある展示設備を、可動式の分館に近い形で運用する』というパターンであれば、テーマ展示のユニット内容を応用し、輸送の労力を比較的軽減できるように感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ご意見の通り、テーマ展示の内容をサテライトにも活用できればと考えます。	無
96	60	博物館法改定では、富士宮中央図書館も博物館となり、令和10年3月31日までに、クラウドファンディング募金や、サブスクなどで一定の図書貸し出し料金の合計額が、年間の光熱費＋職員人件費の合計額の65%以上を補填出来ない場合は登録博物館から除外される場合もあるので、購入書籍をデジタル書籍に切り替えて図書館DX化を推奨されている。図書館のネット検索機能を国立国会図書館で採用されたプラットフォームへの切り替えが必要。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 図書館と博物館は同じ社会教育施設ですが、図書館は、図書館法に基づく施設であり、博物館とは別に扱われます。 ただ、博物館と図書館が連携したデジタルアーカイブ化は、歴史文化財を身近に感じてもらう機会となることや実際に見てみたいと思っていただける機会となること、また、学習機能の向上にもつながると考えられるので、将来的にはそのような連携も検討していきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
97	62	職員の皆様におかれましては、このような資料づくりや説明会を何度も開催してくださり、ところより感謝申し上げます。 管理・運営について、光熱費や人件費など年間の維持費はどれくらいになるのか。収支の状況はどうなるのか。 62ページに「基本的に無料」とありますが、これは誰が負担するのか。 説明会では、市外の方は対象外と説明していたが、市外の方や企業、観光目的の外国人などの来場者には、有料にするのはいかがか。 経営コンサルタントなどのプロに入っていただき黒字になる計画を立てて欲しい。そして、その収益を富士宮市民へ還元（給食や介護施設の食事を豪華にする日など）して欲しい。 維持費に加え、20年後30年後、市民文化会館や市立病院のように老朽化してリフォームしていくことになるかと思う。今ですら生活が苦しいのに、年間600人にも満たない子ども達が、これ負担するとなると、2倍3倍と税金が徴収されるのか。子ども達には明るく楽しい未来を残し欲しい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 年間維持費は、およそ1億1千万円と想定しますが、収入は入館料が主となるため、収支は支出のほうが多くなります。博物館は、公民館や図書館と同様の施設として、採算をとることは考えておりません。料金については、なるべく多くの市民が利用しやすいよう、基本的には無料と計画しています。運営にかかる費用は市の予算から支出し、そのお金は、市民の皆様からの税金などから使われることとなります。ランニングコストや修繕費も必要経費として、予算から負担していきますが、人づくりのための投資と考え、多くの方に利用していただくことで、還元していきたいと考えます。	無
98	66	建設事業費が26.2億円について、すでにきまっている事を説明していて驚いた。たとえ市民が反対しても、反対意見があっても、決まってしまうことに意見を言っても仕方ないと思った。 博物館は必要かなと思うが、今ではないと思う。目の前に他に大事なことがあるのに逃げているように感じた。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 基本計画に記載されている金額は概算であり設計段階に入らなければ具体的な金額は確定していません。また、基本計画の次の段階が基本設計になりますが、議会の承認が得られなければ基本設計には進めないため、決定事項ではありません。ただ、富士宮市文化課としては、博物館の建設は必要であると考えていますので、富士宮市にふさわしい博物館を整備するため、その内容をこの基本計画でお示ししています。 時期等については、今後改めて検討していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
99	66	26億円もかかる博物館に必要性は感じない。税金が上がらないのか不安でいっぱい。 今は建設する時期ではないと思う。踏み止まって欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館の建設には、国の補助金や交付金も使いますが、市民の皆様からの税金を主な財源としており、不安になる気持ちも理解しております。しかし、これによって、税金が上がるということはありません。 これまでも博物館建設の構想がありながらも、ほかの優先事業によって実現できなかった経緯があり、今、ようやく博物館の基本計画の段階まで来ることができました。文化財を大切に保存し後世へ伝えるとともに、郷土愛を育て富士宮市に愛着を持つ市民を育むことが、将来の富士宮市のためになると考えていますので、今後もなるべく早く博物館の建設が実現できるように取り組んでいきたいと考えていますが、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、今後、時期も含めて再検討していきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
100	66	私は0歳の子どもを育てている母親であるが、この博物館計画については、以前から疑問を感じており、今回も反対の立場で意見を提出する。 特に気になっているのは、計画当初に示されていた予算から大幅に金額が変わっていること。市民としては「最初の説明は何だったのだろう」と感じてしまうし、このまま計画を進めて本当に大丈夫なのかという不安がある。 物価高騰が続く、子育て世帯の負担は年々大きくなっている。私自身も子どもを育てる中で、子育て支援や医療、教育、防災など、今すぐ必要とされていることにもっと予算を使ってほしいと感じている。 もちろん富士宮の歴史や文化を残していくことは大切だが、そのために新しい大きな施設を建設することが本当に今必要なのか。建てた後も維持費や修繕費がかかり続けることを考えると、将来の負担も心配。 市民の理解や納得が十分に得られているとは思えず、予算の増額についても不信感がある。まずは計画を立ち止まって見直し、本当に市民が求めていることは何なのかを改めて考えて欲しい。 市民の暮らしに直結する施策を優先することを希望する。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 物価高騰が続く、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、市民の皆様が不安に思っていると思います。博物館の建設は、子育て支援や防災等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。 建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかない、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。	無
101	66 101～102	今後、少子化と人口減少により、税収は確実に減る。巨額を投じて常設展示館を建設することは時代に逆行している。利用者の減少も見込まれる。将来発生するランニングコストが次世代の大きな負担となる。 郷土資料を大切に保管、継承することは非常に重要だが、高額な常設展示館を建設する必要はない。資料の保管には、コストを抑えた専用の倉庫を設置し、展示については、既存の文化会館や学校のスペースを有効活用して定期的に巡回。分散展示を行う方法を提案する。これにより、コストを抑えながらより多くの市民に資料に触れる機会を与えることができる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 少子化、人口減少が進む中、なるべく早く、多くの方に市の歴史文化を知っていただくためにも施設が必要と考えております。ランニングコストは必要経費と考えておりますが、省エネ機器等の活用により、なるべく抑えていく計画です。 博物館は、保存だけでなく、展示、調査研究、教育等を一体的に行う場所であり、歴史文化の拠点となる場所です。そこに来れば、富士宮の歴史文化に触れられる場所として、様々な方に来館いただきたいと考えております。その中で、サテライト展示として館外でも展示を行っていく計画です。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
102	66	『【整備費の試算】 展示制作費用』 こちらは、テーマ展示については、『予定するすべてのテーマ展示のユニットを初めから準備する前提での試算』なのか、それとも『随時作り足していく予定での、初期分のみでの試算』なのか。もし前者の場合、実用する前に内容のアップデートが生じるケースも想定できロスが生じるが、一律して開館段階の情報をベースとし、以降更新の生じた年月日や更新箇所、更新前後の内容比較などもデータベースとして蓄積されていくのであればはなから全部作ることも可能なので、どちらの展望なのかが気になる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 開館の時点で、入れ替え内容も含めて作成しておきたい考えです。その後の更新やテーマ追加もあると考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
103	66	財政負担の規模と将来への影響について 建設費は 26 億円から 30 億円と見込まれている。物価・建設コストが高騰している昨今の状況を踏まえると、さらに膨らむ可能性も否定できない。 さらに問題なのは、博物館建設後、毎年にあつて人件費（学芸員・管理スタッフ等）・光熱費・維持修繕費・展示更新費などの運営コストが税金から支出され続けること。計画期間を 30 年と想定した場合、建設費と運営費を合わせた総事業費は数十億円規模に達する可能性がある。財政への圧迫が懸念される中、市議会でも「博物館に予算を割くことで、他の重要なプロジェクトや市民サービスが停滞しないか、より多くの市民に恩恵をもたらす別の使い方があるのではないか」との意見が審議の場で表明されている。 道路・橋梁の維持補修、子育て支援、高齢者福祉、防災・減災対策など、市民の日常生活に直結する課題が山積している状況において、本計画を優先することの合理性について、市民が納得できる明確な説明が十分に行われていないと思う。 よって、以下を要望する。 ①建設費・年間運営費・30 年間の総事業費の試算を、具体的な根拠とともに市民に公開すること。 ②この規模の支出が市民サービス全体に与える影響についての評価を示すこと。 ③財源確保の具体的な方針（国庫補助・起債・一般財源の割合等）を明示すること。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ①基本計画の段階でお示しできるものは、あくまで概算費用です。 整備には、造成、駐車場、屋外施設を含まず30億円程度 年間運営費は、人件費に約8,000万円、維持管理費に約2000万円、事業費に約1,000万円程度と想定します。 ②仮に①のとおり約1億1000万円を年間経費とした場合、現在よりも増える金額は、約2,000万円。博物館整備は、子育て支援や防災等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。 ③財源としては、単純計算ですと、国交付金（内閣府の地域未来交付金または、国土交通省の都市構造再編集集中事業 ともに補助率1/2）の活用1/2、残り1/2のうち起債75%、残りの25%が市単独費用と想定します。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
104	66	「用地取得並びに造成、駐車場及び屋外施設の整備費用は含みません。」や「人件費、資材価格が上昇傾向であることから」の記載があるように、現在の整備費の試算を大きく上回る可能性があると思う。 その場合、どうするつもりなのか、そもそもそれだけの費用をかけて建設する必要があるものか再検討して欲しい。 歴史資料収蔵が目的であれば、専用の建物を建てた方が有益ではないかと思う。 建設ついでに様々な機能を持たせすぎて、ひとつもまともに使えるものがない施設にならないか心配。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 今後も、建設費用が増え続けるのではないかとといった心配の声が聞かれます。建設の段階では、費用の状況や、優先すべき他の事業等を勘案し、状況に応じた予算を編成することとなります。 博物館は収蔵だけでなく、展示、研究、教育などがそろっていることがその役割でもあります。それぞれの機能を十分に生かして、多くの方に活用していただける施設にしたいと計画しています。	無
105	66	極度の物価上昇局面の今、予想される物価高騰による工費が読めない状態で、この基本計画案を今のまま進めていくことに賛成できない。 また、市民の方々は無料で入館ということだが、問題はこの博物館の維持管理の費用がずっとかかっていくということだと思う。市民の負担減を考えるなら、展示品をより多くの方に見てもらえるような、人を呼べるような工夫が必要であり、また、市外・県外・海外などの観光客には料金設定を上げるなどして、それを維持管理費に充てていくということも必要だと思う。展示品をより多くの方に見てもらうためには、スペース的にも予算的にも不十分であるため、この案には反対。まず建設ありきと思われる計画に賛成できない。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 物価高騰が続く市民生活においても先行き不透明な状況であることから、今後、場所や時期について再検討することとします。 市の博物館は、人を呼んで稼ぐことは念頭に置いていません。多くの人に市の歴史文化を知っていただくための施設にしたいと考えています。また、公民館や図書館と同様の施設として、採算をとることは考えておらず、料金については、なるべく多くの方が利用しやすいよう、基本的には無料と計画しています。運営にかかる費用は市の予算から支出し、そのお金は、市民の皆様からの税金などから使われることとなります。ランニングコストや修繕費も必要経費として、予算から負担していきますが、多くの方に利用していただくことで、還元していきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
106	66	博物館整備に使う金額が大きすぎることに疑問を感じる。市民の生活には何のメリットがあるのか。国外からの観光客が多くなると市民の生活や穏やかな生活に不安要素がある。 お金の流れが明確ではなく、市民のお金をこのような多額の出費に使うより市民のためになること（中小企業・個人店や市民税減税等）に使って欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館は、社会教育施設として、歴史や文化について接し学び、人との交流や自身の探求をとおして、心の豊かさを提供できる場所だと考えています。 物価高騰が続き、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、不安に思っていると思います。博物館の建設に費用はかかりますが、これにより、他の事業が圧迫されることはありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。また、建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。	無
107	66	巨額の投資は絶対反対。市民税減税、富士山噴火の災害準備対策、災害後の復活等に使用するために残して欲しい。	【単に賛成、反対の結論のみを示した意見のため反映しない】 物価高騰が続き、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、不安に思っていると思います。博物館の建設に費用はかかりますが、これにより、他の事業が圧迫されることはありません。災害対策等にもはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
108	66	新しい建物を建てるために、高額な資金を投じて、その上、維持費にも相当の資金を投じても収益を見込めない。そこに市民の税金が使われることは納得できない。物価高騰により生活も苦しい。 子供連れの親子が集まることができる場所や年寄りや家族が楽しめる場所、食事のできる場所があると良い。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 物価高騰が続き、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、皆様が不安に思っていると思います。 建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかない、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。 博物館には、市民交流スペースを計画しており、子どもだけではなく、様々な年代の方に利用いただき、そこに、歴史文化にも興味を持っていただいたり、展示を見に行きたくするような仕掛けをしていきたいと計画しています。	無
109	66	博物館の建設に数十億円を投資することについて、無理しないで欲しいと思う。高齢化が進む中、財源の減少も考えられる。建設に否定はしないが、今ある建物、閉校になった学校の利用はできないか。現状にあった対応を考えて欲しい。 物価高、少子化、高齢化、異常気象による水害の対応は大丈夫なのか。不安だらけ。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 物価高騰が続き、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、皆様が不安に思っていると思います。博物館の建設は、子育て支援や防災等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。	無
110	66	古い貴重な資料の保管は必要と思うが、高額な予算と維持費が問題。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかない、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
111	70	策定委員会を構成しているメンバーで、博物館法が改定されたことすら知らないメンバーが有識者メンバーとなっている。 全員80歳以上のメンバーでは、デジタルアーカイブ方式の博物館DXなど無理。 メンバーの入れ替えが必要。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 策定委員会の委員は、有識者だけでなく、市民の代表の方もおり、年齢も様々です。	無
112	75	副読本についてです。副読本は市立ベースでのまなざしであるため、市立博物館と副読本との相互関係が楽しみです。中央視点のまなざしに触れる学習と、地域のまなざしに触れる学習、双方の与え合う効果が、富士宮市において、博物館の整備によりよりいっそう発揮されることに期待します。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 副読本の内容に合わせた展示や、小中学校の見学に合わせて見せられる展示など活用できればと考えます。	無
113	75	博物館の職員の増員はさほどないと想定されていましたが、増員をさほどせずに博物館運営をすることは難しいと感じられます。増員があるのか否かだけでも、明示する必要があると感じられます。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 行いたい事業はたくさんありますが、人数と業務量を勘案して人員を配置していきます。現状は未定のため、そのままいたします。	無
114	100	第5回（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本計画策定委員会にオブザーバーとしてコンサルタント会社の丹青社から3人が同席したと議事録に記載されていたが、後日改竄されて抹消された。重大な情報漏洩行為。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 基本計画には直接関係のない意見ですが、 第5回（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本計画策定委員会の議事録は、HPに掲載後、修正等しておりません。オブザーバーについても掲載しています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
115	101～102	博物館建設に反対ではないが、新しく建設するのではなく、既存の建物を利用したり現在建設中の文化会館の一角を充てることはできないか。 伊豆の国市の歴史館は12億円でできたと聞いたが、富士宮市の博物館は26.2億円。この違いはなぜか。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとしますが、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。 富士宮市が現在計画している博物館の延床面積が、およそ2,240㎡であるのに対し、伊豆の国市の歴史館の延床面積は、およそ1,236㎡であり、建物の大きさが異なります。また、展示メインの施設であるため、収蔵スペースの整備も限られることから整備費用も抑えられます。なお、富士宮市の26.2億円には、設計の費用も含まれています。	無
116	101～102	博物館は必要ない。 どうしてもつくりたいなら、使わなくなった施設をリニューアルすれば良いのでは。税金を使うのであれば当たり前のこと。博物館がなくても子どもたちに継承することはできる。 伊豆の国市の「いずしる」は12億円なのになぜ富士宮市は30億円もかかるのか。市民5,000人が反対署名している。税金の無駄遣いはしないで欲しい。今回の説明会用の書類にいくらかけたのか。不信しかない。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 立地場所について、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとしますが、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。 富士宮市が現在計画している博物館の延床面積が、およそ2,240㎡であるのに対し、伊豆の国市の歴史館の延床面積は、およそ1,236㎡であり、建物の大きさが異なります。また、展示メインの施設であるため、収蔵スペースの整備も限られることから整備費用も抑えられます。なお、富士宮市の26.2億円には、設計の費用も含まれています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
117	103～115	市民が気軽に集えるように(駐車場や場所等) 考えて欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 立地場所については様々な考え方があると思いますが、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。博物館がまちなかにあることで、市民が気軽に集うことができる場所にもつながると考えます。ただし、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。	無
118	103～115	【富士宮市都市計画マスタープランとの整合性について】 都市計画マスタープランでは、まちなか商業施設として、富士宮駅を中心に、都市機能と交流機能が充実した中心市街地にふさわしい商業地、居住地の形成を目指しますとしている。 駅前地区は、主として、商業、業務、娯楽等の施設の集中立地を図るべき商業地域として、容積率400%、建蔽率80%と定めていることから、一定の高度利用が図られることが前提の地域と考えられる。その事例として、駅前交流センターきららが入っている高層住宅建築物等が立地している。このような地域に、生産性のない3階建て低層の博物館が立地されることが、都市計画マスタープランに即しているか疑問。 なお、静岡県内の自治体では、市の顔となる駅前地区に博物館を設置している事例は見当たらない。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館は図書館などと同様の都市機能の1つです。駅前という立地は、歴史文化資源や交通機能、周辺の商業店舗や文教施設等様々な連携が可能であること、また、博物館が単に展示を見ていただくに留まらず、周辺の歴史文化資源や商店街への回遊、様々な団体との連携、交流等によりにぎわいを創出する場所となるよう計画していたため、都市計画マスタープランには即していると考えています。しかし、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設等も含めて、立地場所を再検討していくこととします。	無
119	103～115	新たに博物館を建設することは反対。増してやきらら駐車場に建設することは反対。どうしても博物館が必要であるならば利用できる施設を探して欲しい。文化会館もリニューアルに税金を費やしている。また、市街地の貴重な駐車場が減ることは商店街にとって大きなダメージになる。 市民も反対の意見が多い。市民の税金を使うため、じっくり検討して欲しい。お互いに納得いくまで話し合うことが大事。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。 整備にあたっては、国の交付金やふるさと応援寄付金を活用し、なるべく市の負担が少ないように努めてまいります。ご理解をお願いいたします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
120	106 111	立地を選定した理由として、「誰もが利用しやすい“アクセスの良さ”」とあることが引っ掛かる。 p.111では、きらら駐車場の立地のアクセスの良さとして「徒歩・バス・電車でも来館しやすい」と表記され、車についてここでは明言がないため、車のアクセスが良いのか否か、市はどちらで認識しているのか。『市民の言う“まちなかの混雑（渋滞）”とは、時速で定義するのではなく、車の動きづらい状態全般を指す語であるため、市の認識と噛み合わぬものとなっている可能性がある』と感じる。様々な健康状況の者が居ることが伝わりきっていないのかもしれないと感じる。『きらら周辺は道路混雑もある』という声について、きららの真傍だけでなく近辺に目を向けたとき、まちなかはどこも道路が混雑していて不自由をする、という切実なケースも在る旨を伝えた。『きらら周辺は車のアクセスがよい場所ではない』と認識しているが、少なくとも駐車場が充実すれば、『車のアクセスが良いと断言まではできないが、車でも訪れやすい場所であると言える』状態になると感じるので、駐車場に関する交渉に期待する。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 p103～112基本計画策定委員会や説明会で使用した資料について御意見をいただきましたが、すでに使用した資料を参考資料として掲載したものであるため、修正できるものではない旨御了承ください。 博物館へのアクセス、集客性・回遊性、駐車場の利用等について、細部まで気付いていただきありがとうございます。今後、博物館事業を行っていく際、参考にさせていただきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
121	105～107	『立地について 都市型 メリット』 「高校生など勉強できる場として来やすい」という見解をピックアップされている点について、それがきらら駐車場においても適応できる都市型特性なのか、大きく分けて二点、気になった。 ①高校の学習や高校生の放課後時間においても、郷土との協働の取り組み、郷土おこしや総合学習等もちろんあるが、それ以外の一般的な授業内容を自習する場としての利用を計画にて想定するならば、“必要最低限の施設規模の範疇を越すもの”とみなす反対の声を生むリスクを有すると感じる。 ②富士宮駅と富士地区内の各高校との配置から、駅前の施設が勉強の場として機能するのならば、市外者の比重が比較的上がることも推測される。よって、「高校が富士宮市外で、在住が富士宮市内であり、駅からさほど遠くないか、駅からバスや家族の送迎等で帰宅できる」などの条件をつけた方が良いのでは。 博物館を整備することの効果として言及するには、“高校生の勉強の場ともなること、高校生も集まりやすいこと”は、市民から広く理解を得る上では妨げとなる要素であるので、p.107において「特に、小中学生、高校生が行きやすい。子どもだけでも行ける場所」とある箇所は、まず前半を削除して単に「子どもだけでも行ける場所」とし、加えて、『日常的な駅利用の際にも、時間調整で立ち寄ることが可能』といった主旨の内容を足すことを提案したい。		
122	107	「『市内を巡るきっかけ』として、交通アクセスなどの利便性が高い」とある点について、富士宮駅から郊外に向けたバスには1時間あたりの本数が少ないものもあるので、都市型としての利便性を市域全体の活性化につなげる上では、まちなかから市内全体への交通の便が今以上によくなる必要もあると感じる。バスを増便するよりは、デマンド型交通を増強することで対応していければよいのではないか。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
123	107	『集客性・回遊促進効果』、『まちづくりへの効果』 「まちなかへの回遊性が期待できる」、「まちなかの賑わい創出」とあるが、当計画により、もし市の中心部に道路と人の混雑が今以上に増す可能性があるならば、『現状でも、健康上の理由で混雑を理由に商店街や市の中心部に行けなくなっていたり、市内を動きづらくなっている者も居るため、混雑を理由にまちから足が遠のく市民も、たとえ一部でも存在するという旨を伝えたい。		
124	107	『集客性・回遊促進効果』、『まちづくりへの効果』 このページ全体の構成とは、①：『まず、資料で言及してきたコンセプトにおいて利がある点を述べている。加えて、「他の点においても利点が多い」ことについて、箇条書きしている』のか、それとも、②：『箇条書きは、ページ冒頭にて言及した利点の詳述である』のか。 この博物館が、市全体を資源として保全することに寄与でき、市全体の歴史文化的豊かさ、即ち“まちの、文化的賑わい”、“まちの深み”を豊かにする上でも重要な役割を果たせる』という旨を感じやすくされてはいかがか。『まちづくりへの効果』について、『市内への交通の拠点も近く、市域全体を活性化できる』といったコンパクトな一文が足されれば、印象が変わると感じた。また、「回遊性」、「商店街や周辺施設との連携効果」、「賑わい」の語について、注意深く読むと、これらが決して経済に限った話ではないことが理解できるのですが、とっさに経済的な側面を受け取りやすい言葉たちでしたので、現在の、極力コンパクトになるよう情報を削ぎ落した文面では真意の伝わりにくい部分でもあったと感じられました。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
125	111	『誰もが利用しやすい“アクセスの良さ”』 この立地において、車や自転車、バイクでのアクセス性も視野に入れられているのか。子どもたちの自力でのアクセスや、回遊する市民・訪問者全般において、自転車でのアクセス性も重要に思えるが、『この博物館周辺に、駐輪できる場所をどの程度確保するのか、どこに駐輪する前提の施設なのか』が、資料からは掴めない。現在、さらら駐車場に既存の駐輪場がある箇所を、博物館においても主要な駐輪場とするのか。		
126	111	「回遊」、「観光動線」の想定箇所が資料のこの箇所ではまちの中心部に限局されていることから、『博物館利用者が、施設近くの駅前から市域全体へと、好きなところへと赴ける』といった動線構築のヴィジョンが市に有るのか。 市が想定する「回遊」の前提条件が気になる。『じっくり観ても回遊することが出来る疲れにくさや、アクティブな文化活動』を前提とされているのか、『コンパクトに見ても楽しめ、回遊も楽しめる』前提なのか、どちらか。 また、展示ボリュームについては、展示替えと施設規模を前提に、一度に展示されているボリュームは適度としておき、再訪により触れられる展示の増える博物館とする、と解釈してよろしいか。回遊を前提としたとき、施設規模に対する情報の密度として、ボリュームはほどほどにするとも受け取れた。		
127	111	駅前という立地のアクセス性について、「来て学ぶ場所」と言及があり、続く「行きやすい場所にあるほど参加しやすい」は『博物館が、行きやすい場所にあるほど、学びや活動に参加しやすい』の意と解釈したが、『この「行きやすい」とは、“市内の現地へ行きやすい”という意でなく、“博物館が行きやすい場所にあるほど”の意である、という解釈』で合ってるか。もしもこの解釈でよい場合、『駅前という拠点は、市内訪問のための移動ターミナルともしていけること』にこのページにて言及がないため、その点も気にかかる。		

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
128	111～112	『商店街との連携がしやすい』『代替駐車場を確保する必要性』 商店街や駅前の店の利用者の中には、きらら駐車場を利用する人も居るため、博物館建設によりきららの駐車場が減る場合、商店街を訪問する機会をかえって減らすリスクともなり得ることが懸念される。そのリスクを前提としたとき、商店街側が博物館と快く連携できるのかは、きらら駐車場に近い店舗か否かでも変わってくる。商店街で現在残念ながら空き店舗のままとなっている土地について、もしも今後、土地側に利用の予定がなく、意向と合うならば、博物館の駐車場として利用できる場所があるか否か、確認や交渉はされているか。p.112での「混雑時の代替駐車場」としても、商店街の空き店舗について、交渉できないか。		
129	112	「来館者が自然と商店街に足を運びやすい」という見解については、『そう在りたい、そうなりたいという意向』なのか、『そうなるはずだ、そうなるだろうという見込みや期待』なのかで印象が変わる文面。前者であれば、『来館者が自然と商店街に足を運べる動線を目指せる』、など、ページ内の他箇所にもあるように、断定形でない表現となれば語弊がないように感じる。断定形である一方、その論拠と感じられる提示が資料になく、市民としては、これが自然に生じる効果とは感じられないため、根拠の不足が気にかかる。		
130	112～115	建設場所を決定する前に駐車場問題を解決して欲しい。博物館建設は絶対反対。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。ただし、「新築」 「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設の活用も含めて再検討することとします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
131	114	駐車場80台程度確保と記載してあるが、立体駐車場を検討して駐車台数を増やして欲しい。文化センターや図書館の駐車場も同様に増やして欲しい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 駐車場の形態は、基本設計の段階で検討していきますが、立体駐車場は増える台数の割に高額になると想定されます。 なお、立地場所について、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「駅前交流センター駐車場」には限定せず、今後、既存公共施設等も含めて立地場所を再検討していくこととします。	無
132	115	きらら駐車場という立地と駐車場の利用料金について、きらら駐車場は現在有料（一定条件で減免あり）だが、博物館をここにつくるにあたり、博物館利用者の駐車場料金は、きららや近隣商店等の利用者と全く同じ条件なのか。これは、博物館用に近隣で駐車場を確保するにあたって、現在のきらら駐車場と同一料金で提供していけるのか、という課題に繋がる。 『きららに近い駐車場を使いたい健康事情の人が、きららや博物館の利用時に、きららに近い駐車場を使える環境が自治にて保たれるのか。利用がきららと博物館どちらであっても、ある程度歩ける人であれば施設から離れた駐車場の利用をするよう協力を促すのか』など、駐車料金と駐車場からの距離は、困難な課題の多い分野と感じる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 駐車場料金等については、今後検討します。料金については、例えば、きららのように施設利用者は無料にするなどが考えられます。ただ、立地場所について、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、今後、既存公共施設等も含めて立地場所を再検討していくこととします。	無
133	115	『市の対応』 「きらら利用者優先区域」において想定される「きらら利用者」とは、サークルなどでの定期利用者のみなのか、それとも、単発の用事でのきらら利用者も含めるのか、どちらのご予定か。加えて、『きららと博物館、双方を単発で利用する者』や、『きららの定期利用者で、博物館にも寄る者』、といったケースにおいて、『「きらら利用者優先区域」を利用し、博物館の出入りの時のみ人から目撃された際に、トラブルになる可能性はないのか』という点も気にかかる。多様なケースを想定した詳細なガイドラインと、マナー啓蒙が必要となると感じる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ある程度良識にお任せする部分になると思われるが、トラブル等も想定されるため、ご意見の通り、ガイドラインやマナー啓発が必要と考えます。ただ、立地場所について、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、今後、既存公共施設等も含めて再検討していくこととします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
134		現在芝川の文化財として判断した根拠を、学芸員の資格を有した者が数値化した規定書を作成することが必要。 ①周辺の博物館に類似した文化財が存在しないという根拠を調査した報告書と学芸員のサイン ②富士宮市の歴史を示す写真 ③学芸員が判断した調査書及びサイン ④県または国の重要文化財 ⑤登録台帳はエクセルなど電子媒体に分野別に登録して画像と共に文化庁のプラットフォームであるジャパンサーチに紐づけされていること。 これらの申請を令和10年度期末日までに文化長に申請して登録博物館として認定されること。 これらはユネスコが勧告した国際共有企画であり、以降、定期的にユネスコの審査機関が審査を行う。 民間企業のISO認定企業ではISO9001認定企業では常識。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 これまで登録博物館として運営してきた博物館は、博物館法の改正により、令和10年度末までに再度申請手続きが必要となりました。 デジタルアーカイブ化されたデータは最終的にジャパンサーチに紐づけされ、横断的な検索がされることにつながります。 富士宮市は、現在博物館がない状況ですので、期限等は関係ありません。	無
135		市長選の論点であったこの計画で、市民の半数が現市長に反対を表明している。 また住民投票条例に必要な人数分の署名を提出した際、その数があたかも反対人数と受け止めた。 市長の言葉は民意を蔑ろにした強引な政治ではないか。議論が行われていない。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 全ての市民の皆様に、富士宮市の歴史文化財の素晴らしさや現在の富士宮市の文化財の展示・保存状況が正しく伝わっている状況であるわけではないため、理解していただく努力をしたいと思い取り組んでいるところです。市民説明会なども開催する中、皆さんの意見を聞き、蔑ろにしているわけではないことを御理解ください。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
136		博物館の登録及び相当施設指定申請 新規に博物館の登録又は相当施設指定を検討される場合は、静岡県教育委員会社会教育課までご連絡ください。 教育委員会社会教育課 企画班 電話番号：054-221-3160 メール：kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp 登録博物館 登録審査基準 博物館登録審査基準（PDF 63.9KB）新しいウィンドウで開きます 登録博物館申請書及び提出書類チェックリスト 指定施設 指定施設審査基準 博物館に相当する施設指定審査基準 予 教育委員会社会教育課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話番号：054-221-3160 ファクス番号：054-221-3362 kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館の登録申請を行う際は、手順に沿って適切な申請を行います。	無
137		静岡県で博物館建設をする場合の審査については、以下の手順を踏む必要がある。 ・博物館の登録申請は、静岡県教育委員会社会教育課に連絡して行う。 ・博物館の設置基準として、資料の収集、保管、展示、調査研究の実施、公益性の確保などが求められる。 ・改正博物館法に基づき、登録を受けようとする場合は、2028年3月31日までに審査を受ける必要がある。 これらの手続きに従って、博物館の建設を進めることが重要。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 136と同じ	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
138		反対。近年の異常気象、予想される南海トラフ地震と富士山噴火が連動する…いつ起こるか分からない。中地域の防災に取り組むことが最優先である。貴重な文化財を管理、保存する事に異論はないが、最重要課題とは、市民の生活を災害から守ること。地方自治のやるべき仕事。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館整備の有無にかかわらず、防災対策はしっかりと行ってまいります。一方で、歴史文化を守りことも市のやるべき仕事であると認識しています。予算については、身の丈に合った博物館の建設計画し、国の交付金やふるさと応援基金、起債を活用し、なるべく税金を抑えた形で整備を進めたいと考えています。	無
139		まず計画書だけで120ページもの分量…丁寧に詳細に説明したい気持ちはわかるが、要約ぐらいはつけてもらいたい(広く市民に読んでほしい…という気持ちはあるのか?)。そして、採算性のないハコモノはいらない。高齢化や少子化が進む市政のために、そのお金は使って欲しい。何より、郷土愛というものは、ハコモノを作ったり、市歌を毎日流したりするなどして、自治体や行政が無理矢理根付かせるようなものではない。まずは、愛されるに足る郷土であるかどうか。そこからでなければ、話にならない。戦前回帰を目指したいのであれば、話は別だが、ハッキリ言ってこの2つは逆効果であると、強く抗議をしたい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館は、図書館や公民館と同じ社会教育施設であるため、採算性よりも、市民が学ぶ場所、そして心の豊かさを提供できる場所にしたいと考えています。高齢化や少子化が進んでいるからこそ、富士宮市を守っていくためには、市民、特に子どもたちに、富士宮市の歴史文化を知ってもらい、興味を持ち郷土愛を育てることが必要であると考えています。無理矢理郷土愛を根付かせるわけではなく、富士宮市には、愛着を持てただけの素晴らしい歴史文化財がすでにたくさんあるので、それらを適切な環境で展示し皆様にお見せしたいと考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
140		基本計画全体を通して、たいへん読みやすい工夫や、分かりやすい補足情報、経緯の参考となる資料など充実しており、これ一つで当計画の全容やこれまでを掴めるものとなっていることに非常に感動した。資料そのものが、専門知識がなくともわかりやすいよう工夫や心配りをされたものである一方で、市民説明会で参加者の一部から「文字で提示されてもわからない」という声があったのを聞き、情報量が非常に充実しているので全容は掴みにくかったのかもしれないと感じた。説明会はパブリックコメント用の資料をベースに行うであろうと想定でき、事前アナウンスがあれば説明会の理解の助けとなったのかもしれないと感じた。 また、市webサイトにおいて、当計画の関連情報は随時掲載されていたが、トップページの新着情報欄には掲載されていなかったため、建設場所を突然市長が決定したような印象を与えてしまったように感じる。広報ふじのみやでも掲載した方が良かったと思われる。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 今後もわかりやすい情報発信に努めてまいります。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
141		第4章から『波及効果を視野に入れながらも、博物館において主軸となる人づくりや歴史文化面の取り組みを主に行なう』というヴィジョンを感じた。この計画が市民からより広く受け入れられていくためには、より広い市民が、自分事として基本計画に目を通すことがまず必要と感じる。よって、基本計画において、“波及効果の裾野をまず提示し、市民に、自身に良い影響がありそうな計画だ、と感じさせること”が重要なのではないかと思う。 博物館においては、まず、歴史文化面への効果や取り組みが主軸であることが揺るがぬ範囲だが、福祉面や防災など、直接的には歴史文化の範疇と感じにくい分野においても、博物館が有効であることを、もう少し資料全体から感じられても良いのではないかと思う。誰にでも博物館の有用性、必要性が伝わりやすくして欲しい。 また、博物館という存在が、万人が関与できる施設であり、博物館に関係する人の人口を増やすことが大切。誰もが博物館の関係者になり、博物館を機軸とした活動によりコミュニティが形成されれば対人関係、健康、防災等の面においても恩恵を受けることができる。博物館が、自身の生活に好影響を与える存在になること、様々な分野に寄与できる波及効果を持つこと等、もっと踏み込んだ理由や付加価値を基本計画の内容に組み入れて欲しい。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 ご意見のとおり、福祉面や防災など、直接的には歴史文化の範疇と感じにくい分野においても、連携により博物館が有効であることをお示しし、また、今後の実行していきます。第4章冒頭のリード文、イメージ図、また、連携事業例の特に下方の生産者、民間事業者等との連携で簡潔にお示ししています。 現在の私たちのくらしは、これまでの歴史文化の積み重ねの結果であり、また、様々な分野にそれぞれの歴史文化がありますし、歴史文化をもとに様々な分野や人々とつながることができます。	無
142		1.富士山と合わせて写真が撮影できないいわゆる「映えスポット」にしてほしい。建物自体をお城にして「富士山+桜+お城」がいいが、立地無理そうなので、せめて屋上等に何か工夫をしてほしい。 2.訪問者の足が、浅間大社付近から富士宮駅周辺にのびるように、博物館以外に見どころを作ってほしい。例えば未使用店舗を利用した、ちゃんとした観光案内所、一寸したテーマ館のようなもの(お祭り・鱒・滝・やきそば・湧水・養蚕・動植物)。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 写真スポットについて検討していきます。 駅前から浅間大社に人の流れを作るとは、未利用店舗の活用も含め、商店街等と連携して取り組んでいきたいと考えています。 なお、立地場所について、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設等も含めて立地場所を再検討していくこととしますが、他施設等との連携や博物館が何度でも訪れたい場所となるような取組みに努めていきます。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
143		物価高、未曾有の災害、街…日曜の商店街見て回ったほうがいい。特に今はなにが起こるかわからない時に莫大なみんなの税金を使わないで欲しい。他にやらなければならない事をもう一度考えて欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館の建設は、防災等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。また、建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。	無
144		私は生まれも育ちも富士宮市で、現在は市内を拠点に家事サポート事業を営んでいる。今年で10年になる。日々、子育て世帯や高齢者の皆様の暮らしに寄り添う中で、このまちが抱える課題と向き合ってきた。また、昨年から継続して郷土史博物館基本構想の説明会にも参加し、議論を見守ってきた。本提言は、郷土史博物館建設そのものに反対するものではない。富士宮市の歴史や文化を未来へ継承することは、大変重要であり、基本構想に掲げられている理念にも深く共感している。しかし、「未来へつなぐ」という理念を掲げるのであれば、今、私たちが最優先で未来へ残すべきものは何なのか。この問いを、一人の市民として、また地域の暮らしに携わる事業者として投げかけたいと思う。私は仕事柄、多くのご家庭を訪問するが、そこには、暑さを感じながらも電気代を心配し、エアコンの使用を抑える高齢者がいる。物価高騰の中、オムツやミルク、食料品の価格上昇に悩みながら子育てをしているご家庭がある。家族との時間さえ十分に確保できないほど、仕事と生活に追われている方も少なくない。こうした暮らしの現場を見続けているからこそ、私は「未来への投資」とは何かを考えます。 富士宮市では少子高齢化が進んでおり、2024年の出生数は約600人、2025年には約500人まで減少する見込み。市内高校の合同体育祭では、子どもたちの笑顔があふれていたが、生徒数の減少という現実から、学校統合が進むことへの不安も感じる。2026年5月1日現在の推計人口は118,342人。50年後、100年後、このまちには何人の市民が暮らしているのか。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館の建設は、子育て支援や福祉等ほかの事業への予算を削って行うものではなく、暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合ったものを建設する計画です。また、建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかない、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。 「富士宮市に住みたい」「ここで子どもを育てたい」「このまちで暮らし続けたい」と思えるまちづくりが先ではないか、という御意見がありましたが、私たち教育委員会は、博物館がそのようなまちづくりのきっかけとなる場所にしたいと考えています。 また、富士宮市の歴史文化を後世に継承することが責務だと考えています。しかし、富士宮市にある素晴らしい文化や歴史は、現状十分に市民の皆様には伝わっていない状況です。少子化がより進む前に、より多くの子どもに富士宮市の歴史文化に触れる機会を提供し、市民の皆様が愛着と誇りを持てただけの場にしたいと考えます。それが人づくりへつながります。もちろん、それがすべての方に当てはまるわけではありません	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		説明会では、「少し足を伸ばして博物館へ立ち寄り、富士宮市の歴史を知ってほしい」という話があった。その思いは理解できる。しかし、今の市民生活に、その時間的・経済的・精神的な余裕は十分にあるのか。私は、まず「富士宮市に住みたい」「ここで子どもを育てたい」「このまちで暮らし続けたい」と思えるまちづくりが先ではないかと考える。その結果として、市民自らが「富士宮市には郷土史博物館が必要だ」と声を上げるようになったときこそ、本当の意味で市民に愛される博物館が生まれるのではないかと考える。博物館は建設して終わりではない。維持管理費や修繕費など、その負担は何十年にもわたり未来の市民が担い続ける。だからこそ私は、「未来への投資」とは建物への投資だけではなく、人への投資であるべきだと考える。子育て支援や若い世代への定住支援、教育、高齢者福祉、地域医療、安心して暮らし続けられる地域づくりなど、これらは未来に博物館を受け継ぐ人を育てるための土台となる。もし、このまま人口減少が進み、富士宮市に住み続ける人が減ってしまえば、どれほど立派な博物館を建設したとしても、その投資は本来の目的を果たせず、未来への投資ではなく無駄遣いになってしまうのではないかと私は、そのことを強く危惧している。	が、様々な可能性を子供たちに与えていくことが必要であると考えます。それが、将来の富士宮市を守っていくことにつながります。 博物館は、決して建物だけに対する投資ではないことを御理解ください。	

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		この提言を通して郷土の歴史を繋ぐこと自体を否定したいのではない。何もないところから多額の予算を投じてまで博物館を建設することが「今なのか」「この順番で、本当に未来へつながるのか」そのことを改めて考えて欲しい。 ここまで基本構想の策定にあたり、調査・研究・説明会の開催など、長い時間をかけて準備を進めてこられた職員の皆様、関係者の皆様のご尽力に、心より敬意を表す。その上でなお、私は一人の市民として、そして10年間地域の暮らしを見つめ続けてきた事業者として、「未来への投資の優先順位」について問いを投げかけたい。未来へ残すべきものは、建物だけではない。その建物を守り、活かし、次の世代へ受け継いでいく「人」である。富士宮市を愛する一人の市民として、この提言が、博物館建設の賛否を超え、「未来の富士宮市にとって本当に優先すべき投資とは何か」を考える契機となることを心より願っている。		
145		富士山世界遺産センターでの当初の予定収支と現況がわからない状態で30億円もかけて郷土資料博物館を建設することは不要である。 そもそも富士山世界遺産センターは専用の駐車場がなく、場所的に余裕のある広い土地に建てたほうが利便性が図れただろうし、観光事業としては失敗なのでは。博物館をつくるより世界遺産センター等の観光事業強化と観光客を呼ぶ為に必要な事を行わないと財政的に厳しいのではないかと思う。 少子化で人口減、物価高の時に無駄な費用である。このお金を老後福祉や、子育ての対応に使うべきである。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 富士山世界遺産センターは、静岡県の施設で、世界遺産のガイダンス施設です。センターは、浅間大社に近く、まちなかにあることから、観光客が訪れ、その駐車場は、市営の神田川観光駐車場を活用しています。 現在計画する博物館は、市民に富士宮市の歴史や文化を知っていただき、学びや交流をとおして心の豊かさを提供できる場所にすることを目指しているため、富士山世界遺産センターとは趣旨が異なります。 博物館の建設は、子育て支援や福祉等ほかの事業への予算を削って行うものではなく、暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合ったものを建設する計画です。また、建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
146		まず、30億円もかけてどこに建てるのか知らないが、今の世界遺産センターと同じ目に合うのでは？と思う。もともと、市民文化会館の中にも資料館があったのであるなら現在建て替えている会館の中、或いは遺産センターの中に取り込めないのか。新たに建物を建てる必要性はないと思う。 話がそれるが、資料館に掛けるお金の有効活用として、世界的にも有名な富士山を、無謀な計画でまだ閉山中にもかかわらずバリケードの脇から入って、挙句の果てに救助要請をかけられたりしているニュースを見ると、もっと頑丈な塀の高い鉄扉にして入れなくすることにお金をかけた方がいいと思う。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 市民文化会館には芸術文化の拠点として、世界遺産センターには世界遺産のガイダンス施設としての役割があります。 市には、文化会館の一角ではお見せしきれない市歴史文化資源がたくさんあります。また、これらを守り、後世につないでいくためには、適切な保存環境が必要です。 博物館の建設により、ほかにやるべき事業への予算が削られるわけではありません。各担当部署で必要な事業を行っていきます。	無
147		静岡県内で登録博物館認定を受けていないのは富士宮中央図書館だけです。 沼津市戸田造船郷土資料博物館、沼津市歴史民俗資料館、沼津市明治史料館、MOA美術館、佐野美術館、三島市郷土資料館、奇石博物館、池田20世紀美術館、崔如琢美術館、富士山かぐや姫ミュージアム、上原美術館、月光天文台、ベルナール・ビュフェ美術館、久能山東照宮博物館、静岡新聞放送会館別館2F、公益財団法人駿府博物館、静岡市立登呂博物館、静岡市立芹沢銈介美術館、静岡県立美術館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、一般財団法人清水港湾博物館、島田市博物館、掛川市二の丸美術館、藤枝市郷土博物館、浜松市博物館、公益財団法人平野美術館、浜松市秋野不矩美術館、浜松科学館、磐田市香りの博物館	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 図書館と博物館は同じ社会教育施設ですが、図書館は、図書館法に基づく施設であるため、富士宮市立中央図書館は、登録博物館にはなりません。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
148		改正された博物館法では、博物館・図書館のランニングコストの経済性が収益の65%以上に到達することが令和10年3月31日までに到達しない場合は登録博物館の認定は取り消され、統廃合の対象とされると文化庁が公表している。入館料無料としたら、光熱費や人件費だけで2億円の赤字となる。現在の中央図書館の年間の光熱費+人件費を公開して欲しい。中央図書館の貸し出し本やCDなど一定の貸し出し料金を徴収してこのランニングコストに充当して不足分をクラウドファンディングで補填していく実績を令和10年3月31日までに実績値として文化庁に提出しないと、中央図書館への国の助成金は打ち切られる。 博物館建設を中止して、図書館DX化を促進するべき。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 22と同じ	無
149		計画の即時中止と根本的見直しをして欲しい。 博物館の建設計画に強く反対する。建設費が30億円以上に膨れ上がっているだけでなく、完成後の経営について考えが甘すぎる。今すぐ計画を止めるべき。 <毎年の赤字は市民の血税で穴埋め> 建物を建てるお金のことがばかりが話題になっているが、本当の恐ろしさは「完成した後」にある。立派な建物を維持するためには、黒字になることは絶対にあり得ず、必ず大きな赤字が出る。 具体例1（維持費）：広い建物を冷暖房するための莫大な電気代、水道代、そして数年ごとに必ずやってくる高額な修理代。 具体例2（人件費）：館長、案内係、掃除担当、警備員など、毎日人を雇うための給料。 具体例3（展示費）：人を呼ぶために新しい展示物を借りたり作ったりするお金。 これらのお金は、入館料のわずかな売上では到底まかなえない。その足りない赤字分は、すべて富士宮市民が汗水たらして納めた「血税」から毎年奪われ続ける。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 いただいたご意見のとおり、博物館整備には、建設費のほかにランニングコストがかかります。 博物館は、図書館など同様の社会教育施設であり、それらと同様に、運営費は皆様の税金で賄うことになります。施設は、市民の学びの場として、より多くの人に利用いただき、利用いただくことで還元していきます。 博物館は「富士宮市の歴史・文化を学び未来を拓く、人づくりの拠点」として、正に、子どもたちの未来を豊かにするための施設にしたいと計画しており、「生きたお金」として活用したいと考えます。 なお、立地場所について、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「新築」には限定せず、既存公共施設等も含めて立地場所を再検討していくこととします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
		本当に市民のためを思うなら、全国の成功しているまちづくりから方針を学ぶべき。黒字化や、税金の無駄遣いを防いでいる成功例には、必ず次のような方針がある。 方針1（建物を新築しない）： 成功している町は、数十億円もかけて新築しない。廃校になった学校や、空き家、古い倉庫を再利用し、建設費を数千万円から数億円に抑えている。 方針2（徹底した無駄の削減）： 私の店では、商品を包む袋の素材を変え、品質を証明しながら10円のコストを削る努力を毎日しています。成功する施設は、民間企業のように1円の無駄も許さない。 方針3（自立した収益モデル）： お茶を飲めるカフェや、人が毎日集まる本屋などを一緒に作り、そこで出た利益で建物の維持費を稼ぎ出し、税金に頼らない仕組みを持っている。 私の店を通じて、全国から富士宮市へ年間約600万円ものふるさと納税の寄付が寄せられている。寄付をしてくれた方々は、「毎年の赤字を税金で埋め続けるような、誰も行かない大きな建物」のために寄付をしたのではない。美しい自然を守り、子供たちの未来を豊かにする「生きたお金」として使ってほしいと強く願う。 市民の血税と寄付者の思いをこれ以上無駄にしないで欲しい。一人の経営者として、計画の中止と、既存の建物を活用するような身の丈に合った方針への変更を強く求める。		
150		市民への説明や情報提供が不十分。 広報を読んで無いからだと言う人もいたが、どれほどの市民が知っているのか。 しっかり向き合って納得させて欲しい。 懸命に働いて納めている税金を大切に使って欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 広報ふじのみや、LINEやFacebookなどのSNS、報道（新聞）、HP等により、説明会の周知を行ってきました。また、これまでも市民の皆様から意見も頂いてきました。今後多くの人に情報が伝わるよう、情報発信に努めてまいります。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
151		一般的に言われる「ハコモノ行政」とは、以下のとおり。今の富士宮市が置かれている状況である。 ①必要性のミスマッチ：人口減少や少子高齢化が進んでいるにもかかわらず十分な利用見込みがないまま施設を建てる。 ②維持費の圧迫：初期建設費だけでなく、将来にわたる莫大な修繕費や光熱費が自治体の財政を圧迫する。 ③政治的アピール：「目に見える実績をアピールしたく本当に必要なソフト面（教育・福祉・人材）への予算が削られる。 人口減少に加えて「少子化・高齢化」に直面し福祉への厚い予算が求められる。また、博物館への必要があったとしても、新設ではなく、統廃合が予定されている学校の後の廃校利用等を検討するべき。 建設場所も十分に検討できていない。最初は白糸地区だったのに今はきらら駐車場というのは、一貫性がない。 以上から、博物館建設は、必要性も説得性もなく反対。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館の建設は、子育て支援や福祉等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかなく、省エネ機器等の活用によりなるべく抑えていく計画であり、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。 人口減少や少子高齢化するなか少しでも早く実現し、より多くの方に歴史文化に触れていただく機会を増やしたいと考えておりましたが、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「新築」には限定せず、既存公共施設等も含めて、立地場所を再検討していくこととします。 ただし、立地場所については、市民説明会やワークショップを通じて市民の皆様の意見を聞き、その内容を策定委員会に報告し、都市型か郊外型か等議論を重ねてきた経緯があり、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。既存施設を改修した場合と新築した場合について、総合的に比較検討していきたいと考えています。	無
152		博物館はいらない。	【単に賛成、反対の結論のみを示した意見のため反映しない】 教育委員会としては、富士宮市の歴史文化を後世に継承する責務があり、市民の皆様の学習の場、更にはこれから富士宮市に生まれてくる子供たちの未来のために博物館が必要であると考えています。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
153		サクラダ・ファミリアの建設を参考にしてみてもどうか。用地の確保とメインとなる施設を決めておき、他の施設については時間をかけてつくっていく。短期間であらゆる機能を備えることは困難。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 サクラダ・ファミリアの建設のように時間をかけて建設することだと思われますが、市としては、人口が減少するなか少しでも早く実現し、より多くの方に歴史文化に触れていただく機会を増やしたいと考えております。 また、博物館は、収蔵、展示、調査、教育などの機能が集約された歴史文化の拠点として整備を計画しています。	無
154		説明会に何度も出席したが、博物館の必要性を感じない。約30億円かかるお金を市民のためになることに使って欲しい。さらに駐車場が狭くなることは非常に困る。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 物価高騰が続き、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、市民の皆様が不安に思っていると思います。博物館の建設は、子育て支援や防災等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。 建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかない、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。 立地場所については、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとしますが、「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設等も含めて、立地場所を再検討していくこととします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
155		今、物価高騰、生活困窮、資材関係も大幅高騰等の情勢の中、市民にとって郷土史博物館はいらない。世界遺産のある富士宮のどこを通っても雑草が目立ち、街中の空き家、郊外の過疎化、駐車場の少なさ、市立病院の立て直しなど、今必要なところに税金を投入して欲しい。富士宮市の財政がそんなにあるようには思えない。財政が安定し潤ってきた時に郷土史博物館を建てるべき。市民の税金を大切にしたい。 未だに博物館について知らない人が大勢いる。もっと全市民に詳しく説明をし、アンケートをとるべき。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 物価高騰が続く、建設費用が当初計画よりも増加していること、また今後も増加することが予想され、市民の皆様が不安に思っていると思います。博物館の建設は、子育て支援や防災等への事業を削って行うわけではありません。暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。 建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。維持費については、予算でまかない、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。 全ての市民の皆様へ、富士宮市の歴史文化の素晴らしさや現在の富士宮市の文化財の展示・保存状況が正しく伝わっている状況であるわけではないため、理解していただくために取り組んでいるところです。市民説明会なども開催する中、皆さんの意見を聞き、蔑ろにしているわけではないことを御理解ください。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
156		・建設ありき、建設決定を前提とした意見募集は違う。 ・市民の何割が建設希望しているか。 ・なぜ今建設するのか。 ・市民の気持ち、必要性、重要性は調査したのか。 ・膨大な30億円は市民の税金で建設計画しているが、市民は、物価高騰の中1円でも安いものを探しながらやりたいことも控えて節約しながら税金を納めている。世界情勢も定まらず建築資材も高騰しているのに、建築日程を考えないのか。 ・PC、スマホ、AI、教育もデジタル化、仕事もオンライン化の時代になぜこの計画が必要か。 ・貴重であるならば復元すればいつまでも残していける。コピーや3Dで保存すればいつまでも保存は可能。 ・市議会議員は、市民の声を聞き、市民のために考え物申し働いて欲しい。 ・30億円という莫大なお金はどこにどのように流れるのか。 ・インフラ整備、水道管整備、下水道整備、災害対策、富士山噴火対策、学生や学童の通学路安全整備…ほかにやるべきことがたくさんある。 ・市民の生活のために必要な行政をして欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 博物館の建設は、暮らしに直結することにはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った施設を考えています。実際の建設の時点では、経済状況や市のやるべき事業を勘案し、予算を調整することとなります。また、建設費には、国の交付金やふるさと応援基金等を活用し、なるべく税金を抑えるよう努めてまいります。 資料のデジタル化はもちろん推進していく計画ですが、実物を見ていただくことで、富士宮市の歴史をより身近に感じたり感動したりすることができるものだと考えています。 教育委員会としては、富士宮市の歴史文化を後世に継承する責務があり、市民の皆様の学習の場、更にはこれから富士宮市に生まれてくる子供たちの未来のために博物館が必要であると考えているため、多くの皆様に活用していただくことで還元していきたいと考えます。 なお、時期や場所については再検討していきます。	無
157		30億円もかけて建設しようとする施設に対して市民から楽しみにしている発言が一度も出てこない。必ず反対意見。これほど市民から受け入れられない建物をつくるのが市民の利益になるのか。市民は行政に対して不信感を募らせる。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 教育委員会としては、市民の皆様に富士宮市の歴史文化財の素晴らしさを伝え、後世に継承することが責務であると考えています。そのために、どのような博物館がふさわしいかを検討し、協議し、市民の意見もいただきながら計画を作成してきました。博物館建設後も、市民と共につくる上げる博物館にしたいと考えています。ご理解をお願いいたします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
158		巨額な建設費を使う以上、市民の賛否を問うべき。 このような建設計画があることを知らない市民もまだ多数いる。人口減少中、負の財産として若い人たちに残ってしまうのではないか心配。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 全ての市民の皆様は、富士宮市の歴史文化財の素晴らしさや現在の富士宮市の文化財の展示・保存状況が正しく伝わっている状況であるわけではないため、理解していただく努力をしたいと思い取り組んでいるところです。市民説明会なども開催する中、皆さんの意見を聞き、蔑ろにしているわけではないことを御理解ください。 博物館は、負の財産ではなく、市民の皆様の人づくりの拠点として、学びや交流をととして心の豊かさを提供できる場所にしたいと考えております。	無
159		博物館建設には反対。 今すぐつくる必要性を感じない。 それよりも富士宮市立病院で全ての検査や手術ができるくらいの医療設備にお金をかけて欲しい。また、富士宮はお産のできる個人病院がないため、つくって欲しい。富士宮市で全ての検査ができる検診センターをつくって欲しい。富士宮市は高齢者が多いので、医療を充実させるためにお金を使って欲しい。 令和9年の選挙の際、住民投票をして欲しい。市民の声を聞いて欲しい。	【単に賛成、反対の結論のみを示した意見のため反映しない】 現在、少子・高齢化等が進み、大切な文化財の保存管理が危ぶまれている状況にあります。大切な歴史文化材を守り後世へ伝えるための取り組みとして、博物館の建設もなるべく早く実現していきたいと考えています。ただ、物価高騰が続く市民生活においても先行き不透明な状況であり、市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、時期について再検討いたします。 博物館の建設は、医療等への事業を削って行うわけではありません。必要な事業にはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。 市民の声は、これまで説明会やワークショップ、博物館見学ツアー、説明会やパブリックコメント等を行って聞いてきました。住民投票については計画しておりません。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
160		博物館は、いつかはつくれば良いが、今はそれよりもっと必要なお金の使い方がある。 高齢化社会の時代、富士宮市で扱っている老人ホームが1件しかないので増やして欲しい。 市立病院にもっと最先端の機械を導入し、市民が安心して医療を受けることができる病院にして欲しい。 安心して検診、出産ができる個人病院を開院できる環境をつくって欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 現在、少子・高齢化等が進み、大切な文化財の保存管理が危ぶまれている状況にあります。大切な歴史文化材を守り後世へ伝えるため、そして富士宮市の未来のためにも、博物館の建設はなるべく早く実現していきたいと考えています。ただ、物価高騰が続き市民生活においても先行き不透明な状況であり、市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、時期について再検討いたします。 博物館の建設は、医療等への事業を削って行うわけではありません。必要な事業にはきちんと予算を使い、そのうえで身の丈に合った博物館の建設を考えています。	無
161		【立地について】 商業活性化に向けて進んでいる駅前地区に文化財センターの機能を持つ博物館を建設することは相応しいか、以下の状況を考えると疑問。 ・第6次総合計画で推計している長期計画に利活用されている将来人口の推計値と実績値を比較した際の人口減少が、想定よりも著しい状況にある。 ・地下公示では、人口5万人以上の市で富士宮市だけが公示地価が上昇している側面がない唯一の自治体であり、経済が停滞していると考えられる。 ・令和7年度の埋蔵文化財センターの来館者は447人/年という状況。 市民からの要望を考慮して事業費を抑えるためだけに駅前の市有地を候補地とすることは、将来のまちづくりを考えると好ましいとは思えない。博物館は、周辺環境も考慮し、来館者が落ち着いて観覧等ができる場所にあるべき。北部方面の歴史を学びたいと思っている学童が来館するには、相当な努力が必要となる。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 駅前地区に整備を行うことは、都市計画マスタープランの考え方にも整合しており、相応しいと考えます。しかし、説明会等で市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ、「新築」「駅前交流センター駐車場」には限定せず、既存公共施設等も含めて、立地場所を再検討していくこととします。立地場所については、これまで市民説明会やワークショップを通じて市民の皆さんの意見を聞き、その内容を策定委員会に報告し、都市型か郊外型か等議論を重ねてきた経緯があり、博物館が人づくりの拠点として人が集まる場所にしたいため、都市機能を活かし、歴史・文化との融合及び学習機能の向上が期待できる場所に整備することとします。	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
162		【基本計画（施設建築物）について】 基本計画は、基本構想を受けて候補地、その周辺状況、課題の整理、関係機関との調整等、事業における基本的な方針を定め、基本設計において図面化等を行うための準備と考えられる。しかし、今回の基本計画には、施設建築物等に関する基本的な方針が記載されているとは思えない。課題の整理内容、関係機関との協議内容及び施設建築物等の基本的な方針を記載する必要がある。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 今回の基本計画では、施設整備に関する部分として、施設整備計画及び収蔵計画でお示ししています。専門業者の支援も受けながら、必要な項目について検討を行い、基本設計を行うための条件となる内容は盛り込んでいると考えています。これをもとに、より詳細な部分は、基本設計で行います。	無
163		【入館料について】 令和4年度博物館改正に伴い、①博物館の維持運営のために、必要な対価を徴収できるとされており、各館の事情を踏まえて設置者が適切に判断すべきとされていること、②平成29年度における公立の登録博物館では約80%の自治体で手数料を徴収していること、③博物館来館者は興味のある方が来館するものなので、博物館だからといって画一的に無料にすることは実情に合わない考える。ただし、障がい者等弱者に対しては無料とする減免措置を講ずるべきと考える。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 博物館法では、法改正以前から「公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。」とされています。 入館料の徴収については、社会教育調査のデータから、料金を徴収している館が多いことがわかる一方で、少しではありますが、常設展示を無料とする館が増えているデータも確認できます。 富士宮市としましては、常設部分を無料にすることで、より多くの方が利用しやすい場所になればと考えています。企画展については、かかる経費の一部として料金を徴収する計画です。また、併せて減免対象も検討してまいります。	無
164		【文化財の収集について】 文化財として収集する資料などの収集方針を明確に謳っておくことが必要。	【すでに基本計画に記載があるため又は設計段階等での検討になるため反映はしない】 文化財の収集方針や収蔵計画は、他市の状況や内容を参考にしながら、今後策定する計画です。（計画書p23）	無

項目	ページ	提出された意見・内容	意見に対する市の考え方	意見反映の有無
165		太陽光パネルの必要性和弊害について、最新の研究結果が議論されていない。 キャノングローバル戦略研究所の杉山大志さんは、 「太陽光発電を大量導入すると、発電コストは原子力・火力に比べて30円/kWhも上昇する。一般家庭の電気代は年間14万円増、日本全体で30兆円の追加負担となり、国民生活・経済を犠牲にする」と言っている。 デメリットの議論あつての市議会であつて、感情的に反対意見を排除する市政に不信感を持つ市民が多くなっている事実を今一度立ち止まって議論して欲しい。	【基本計画の内容に対する意見ではないため反映しない】 基本計画には関連のない案件であり、庁内で参考といたします。 参議院環境委員会に招致されたキャノングローバル戦略研究所の杉山大志さんによる太陽光発電を大量導入する場合における意見について、関連記事を確認いたしました。国民の負担を増やすべきではない、太陽光発電の大量消費における根本を考えるべきだということ、もっともだと感じました。 しかし、博物館建設において、市といたしましては、追加的な費用負担を市民に強いることは考えていません。また、建設費用も全額を税金から賄うのではなく、国の補助金や交付金を最大限活用する方針です。 様々な意見があることは承知しておりますが、博物館は、公民館や図書館と同じ社会教育施設として、市民の皆様の生活や暮らしに学びや発見、心の豊かさを提供し寄与していきたいと考えています。	無